

慈大

2001  
mar. 13-1

## 呼吸器疾患研究会誌

Jikei Journal of Chest Diseases

第50回慈大呼吸器疾患研究会を終えて	増淵正隆	1
血中アデノウイルスDNAの検出された 肺気腫の1例	今泉忠芳	2
右胸腔内に巨大発育した肺線腫の1手術例	朝倉 潤 <small>ほか</small>	4
頭痛・眩暈にて発症した原発性肺癌による 髄膜癌腫症の1例	原 弘道 <small>ほか</small>	8
第50回研究会記録		10

慈大呼吸器疾患研究会50回によせて	佐藤哲夫	11
<転載> 呼吸器疾患研究会への期待	阿部正和	12
研究会当番世話人一覧		13
会誌総目次/研究会記録		15

**共催：慈大呼吸器疾患研究会  
エーザイ株式会社**

*Jikei University Chest Diseases' Research Association*



## 第 50 回慈大呼吸器疾患研究会を終えて

当番世話人・増渕正隆  
(第三病院 外科)

第 50 回慈大呼吸器疾患研究会は 2001 年 3 月 5 日(月) 午後 6 時より高木 2 号館南講堂にて開催されました。今回は学内外より 7 題の演題発表があり、座長を一般演題(特)は三好勲先生(第三病院外科)、一般演題(監)は竹田宏先生(第三病院呼吸器・感染症内科)に務めていただきました。

発表内容は、一般演題(特)は 3 題で、アムス・ランドマーク・クリニックの今泉忠芳先生から「血中アデノウイルス DNA の検出された肺気腫の 1 例」を、第三病院外科の朝倉潤先生から「右胸腔内に巨大発育した胸腺腫の 1 手術例」を、国立国際医療センターの安久昌吾先生から「Wegener 肉芽腫症の 1 症例」を発表していただきました。

一般演題(監)は 4 題で、本院呼吸器内科の松尾七重先生から「右眼球外転障害と喘息を伴う肺浸潤影を認めた好酸球増多症の 1 例」を、青戸病院呼吸器・感染症内科の原弘道先生から「頭痛・眩暈にて発症した原発性肺癌による髄膜癌腫症の 1 例」を、第三病院呼吸器・感染症内科の多田浩子先生から「胸腔鏡下肺生検にて GIP 様所見を認めた間質性肺炎の 1 例」を、富士市立中央病院内科の小野寺玲利先生から「頭頂部皮膚転移を伴った肺扁平上皮癌の 1 例」を発表していただきました。

各演題とも興味ある貴重な症例で、診断・治療面だけでなく、様々な観点から質問や示唆に富むコメントをいただき、活発な討論が行なわれ、会が盛り上がりました。

本学でも臓器別の診療体制が定着してきた今日、各科の枠を越えて、肺および呼吸器関連臓器疾患について討論したり、先進医療の研究成果を教授していただく場として、本研究会の持つ意義は大きいと感じています。

最後に本研究会のますますの盛会を祈念して、当番世話人の挨拶とさせていただきます。

## 血中よりアデノウイルスDNAの検出された肺気腫の1例

今泉 忠芳

(東京共済病院・健康管理科)

アデノウイルスC群のあるものは、上気道、リンパ球に潜伏感染をしていることが推測されている。

Hoggらは末梢肺組織、特に気道上皮細胞での潜伏感染において、アデノウイルスEIA遺伝子が宿主の細胞機能を変化させ、炎症反応を増強し、喫煙がこれを助長し、肺気腫に発展するとしている<sup>1) 2)</sup>。

松瀬らはアデノウイルスゲノムの肺組織の局在について検討し、ゲノムの一部、EIA領域が肺組織に留っている可能性を報告した<sup>3)</sup>。

今回、肺気腫例の血液よりアデノウイルスDNAの検出を試みたところ、陽性の結果が得られたので報告する。

### 症 例

84歳男性、149cm 39kg BMI 17.5.

主訴：呼吸困難感。

起始および経過：5年前より呼吸困難感あり、医療機関を受診し、肺気腫と診断された。2年前体調不十分にて入院（28 May 1999～12 June 1999）。退院以後、Home Oxygen Therapy (HOT)を行なっている。

既往歴：特になし。

習慣：成年時より喫煙（20本／日）。

### 入院時検査成績

Table 1に示した。Albuminの低値（2.8g/dL）Amilase高値（181U/L：基準値54～168）がみられた。PaCO<sub>2</sub> 44.4mmHg, PaO<sub>2</sub> 68.3mmHgがみられた。

### アデノウイルスDNAの検出

動脈血を採血し材料とした。

PCR法を用いて材料よりアデノウイルスDNAの増幅を行ない、電気泳動によりアデノウイルスDNAを分離検出した。検出はSRL（東京都立川市曙町）に依託した。

### 結 果

アデノウイルスDNAが検出された（Fig.1）。

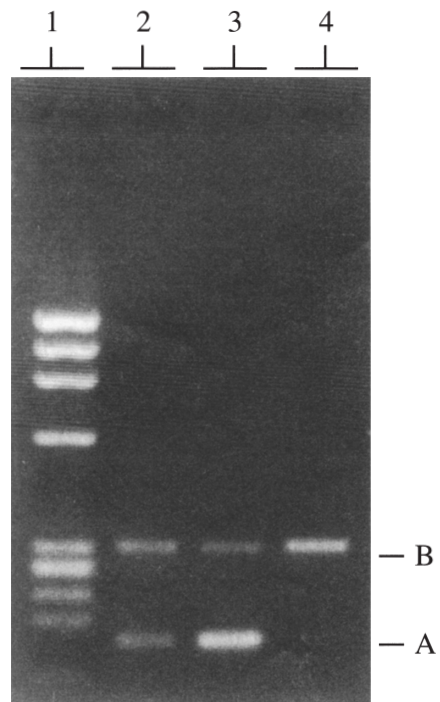


Fig.1 Detection of adenovirus DNA

A Adenovirus DNA

B internal control

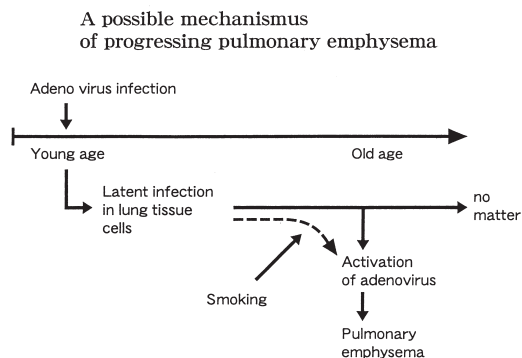
1 Molecular marker

2 Sample

3 Adenovirus DNA positive control

**Table 1** Laboratory Findings. (12 June 1999)

	Ht. 149cm	Wt. 39kg	BMI 17.5
TP	5.0 g/dl	RBC	4.17
Alb	2.8	HGB	14.0
GOT	23 U/l	HCT	41.0
GDT	24	PLT	33.0
LDH	449		
ALP	212	Virus antibody	
γ-GTP	21	Adeno(CF)	4
Amylase	181	Parainfluenza1(HI)	32
T-CHO	162 mg/dl		2
TG	80		3
Glucose	80		4096
Na	136 mol/l	RSV	4
K	4.0	Coxsackie B3(CF)	4
Cl	101	CMV	16
BUN	15.9 mg/dl	Mycoplasma(CF)	8
CRE	0.55	Cold Hemaggl.	32
UA	2.5	Blood Gas	
CRP	2.4	PaCO <sub>2</sub>	44.4 mmHg
		PaO <sub>2</sub>	68.3 mmHg



**Fig.2** A possible mechanism of progressing pulmonary emphysema.

### 考 察

肺気腫例の血中よりアデノウイルスDNAが検出された。このことは肺気腫においてウイルス血症が生じていることが示唆された。ウイルス血症がみられることは、肺組織においてアデノウイルスが活性化され、増殖していることを意味する。これが肺気腫の発症、進展、病態に関与していることが推測された。

ある時期に感染したアデノウイルスは、肺組織に潜伏感染となって潜伏し、多くは

無症状のままであろうが、ある場合には、喫煙もアデノウイルスの活性化の刺激となり、肺気腫への進展を来すことが推測された。

### 文 献

- 1) Elliot WM, Hayashi S, Hogg JC. Immunodetection of adenoviral EIA proteins in human lung tissue. *Am J Respir Cell Mol Biol* 1995;12:642-648.
- 2) Hogg JC. Latent adenoviral infection in the pathogenesis of emphysema. *Chest* May, 2000;117: 282S-285S.
- 3) Matsuse T, Hayashi S, Hogg JC, et al. Latent adenovirus infection in the pathogenesis of chronic airways obstruction. *Am Rev Respir Dis* 1992;146:177-184.

## A Case with Lung Emphysema Detected Adenovirus DNA from Blood

Tadayosi IMAIZUMI

*Tokyo Kyosai Hospital, Institute of Health, 2-3-8, Nakameguro, Meguroku, Tokyo 153-0061*

### Abstract

Adenovirus DNA was detected from blood of a case (84years old, male) with lung emphysema, by sing PCR method. It was suggested that adenovirus was activated and related to genesis and patho plvysiological change of lung emphysema.

## 右胸腔内に巨大発育した胸腺腫の1手術例

朝倉 潤<sup>1)</sup>, 松平秀樹<sup>1)</sup>, 平野 純<sup>1)</sup>, 高木正道<sup>1)</sup>  
三好 勲<sup>1)</sup>, 増渕正隆<sup>1)</sup>, 穴澤貞夫<sup>1)</sup>, 山崎洋次<sup>1)</sup>  
野村浩一<sup>2)</sup>, 福永真治<sup>2)</sup>  
(慈大外科学講座<sup>1)</sup>, 同病理学講座<sup>2)</sup>)

われわれは、右胸腔内に巨大発育した胸腺腫の1手術例を経験したので、若干の考察を加えて報告する。

症例：60歳，女性。

主訴：胸部圧迫感。

既往歴：42歳，胃潰瘍

家族歴：特記すべきことなし。

現病歴：2000年9月の健診の胸部X線写真で、右下肺野に異常陰影を指摘され、精査加療目的で当院に紹介となった。

入院時身体所見：身長146cm，体重40kg，眼球・眼瞼結膜に貧血・黄染なく，表在リンパ節は触知しなかった。右下肺野に軽度の呼吸音の減弱を認めた。筋無力症状は認めなかった。

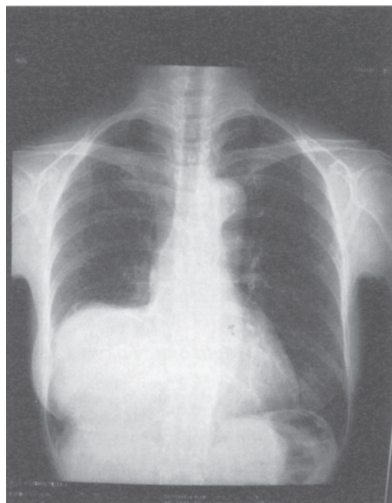
入院時検査成績：腫瘍マーカー（CEA, CA19-9, AFP, PRO-GRP, CYFRA, フェリチン）を含め，血液・生化学検査に異常は認められなかった。

画像所見：

胸部単純X線写真（Fig.1）；右下肺野に比較的辺縁平滑で一部石灰化を伴う巨大な腫瘤影を認める。

胸部CT（Fig.2）；造影効果が強く，内部は比較的均一で隔壁を有し，辺縁平滑な約10cm大の充実性腫瘍を認める。上部の被膜の一部に石灰化を伴う。

胸部MRI（Fig.3）；T1強調画像では均一な低信号に描出され，T2強調画像ではやや高信号を示す腫瘍で，線維性被膜と隔壁構造



(a) 正面像



(b) 側面像

Fig.1 胸部単純X線写真

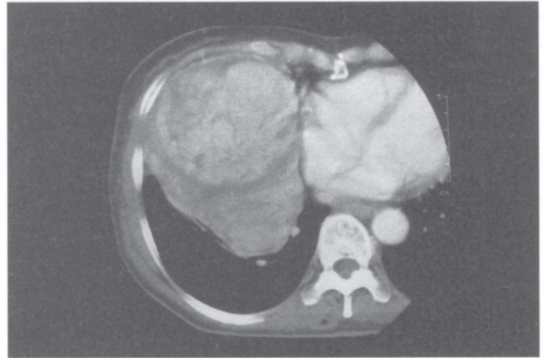
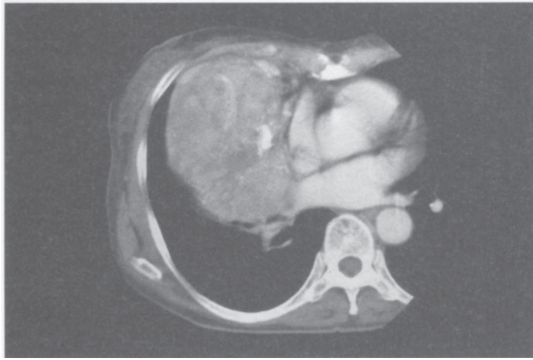


Fig.2 胸部造影CT

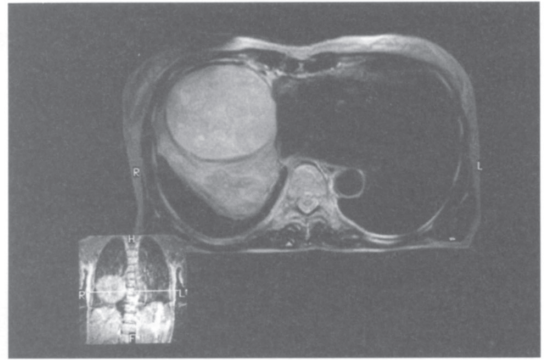
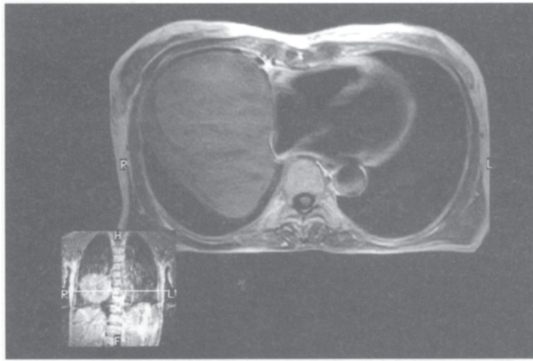


Fig.3 胸部MRI

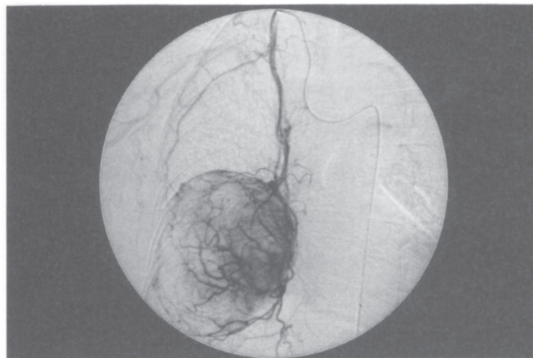
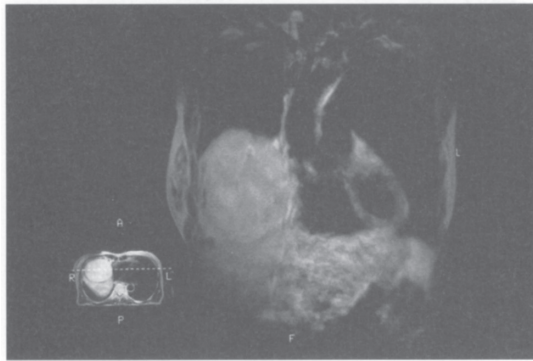
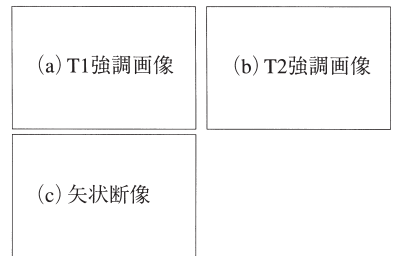


Fig.4 血管撮影

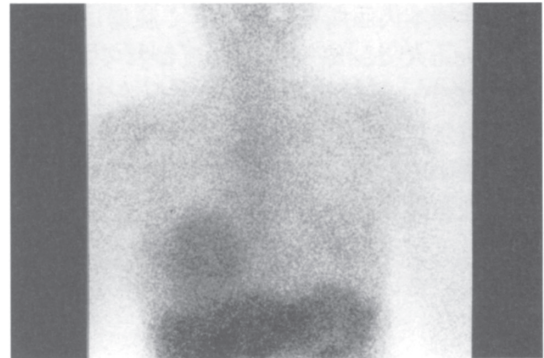
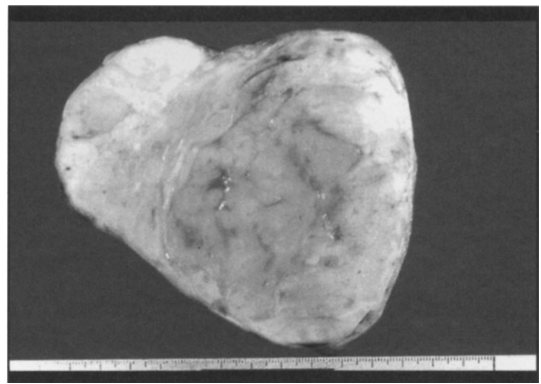


Fig.5 ガリウムシンチグラフィ



(a) 肉眼所見



(b) ホルマリン固定後断面

Fig.6 摘出標本

が低信号として認められる。矢状断画像では、横隔膜と広範囲に接している。

血管撮影およびガリウムシンチグラフィ (Fig.4,5)；腫瘍は内胸動脈より栄養され、著明な tumor stain を形成している。ガリウムシンチグラフィでは、比較的強い集積を認めた。

以上より、腫瘍が血管豊富で出血の危険があること、胸腔内に播種する可能性があることを考え、生検は行わずに手術を施行した。

手術所見：右後側方切開第5肋間で開胸した。腫瘍は横隔膜とは癒着なく、肺上葉と中等度に癒着していた。全体を縦隔胸膜に覆われており、心膜とは直接癒着していたものの剥離は容易であった。胸水は認めず、被膜を損傷することなく摘出した。

切除標本肉眼所見 (Fig.6)：腫瘍は12×11×9cm大で、線維被膜に覆われており、弾性軟で一部結節状に硬い部分を触知した。重量は630gであった。ホルマリン固定後の断面は、白色充実性で分葉状であった。

病理組織学的所見 (Fig.7)：上皮細胞成分とリンパ球成分が部位により様々な割合で混在している。上皮細胞は紡錘形から類

円形で、胞体に乏しいものからやや豊富な好酸性胞体をもつものからなり、核異型は極軽度で、核分裂像は認めなかった。リンパ球成分は小型リンパ球が主体であった。腫瘍は被膜内に浸潤していたが、周囲への浸潤は認めなかった。WHOの組織学的分類では、上皮細胞優位のType A、臨床病期分類では正岡の分類の鑑期と診断した。

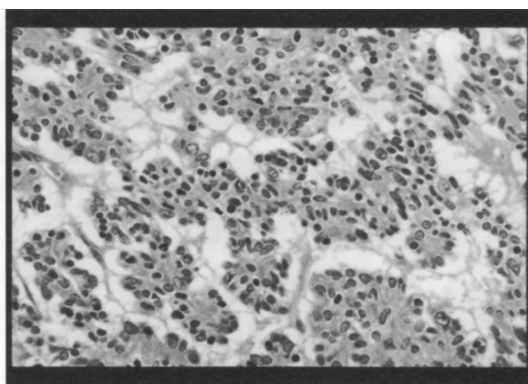
### 考 察

被包型胸腺腫は、遠隔転移を来すことは極めてまれとされている<sup>1)</sup>。一方、(特期胸腺腫の術後再発率は1~5%とされ<sup>2) 3) 4)</sup>、術後再発の原因は遺残胸腺から多中心性発生によるものと報告されている<sup>2)</sup>。合併症を有さない胸腺腫に対して胸腺全摘すべきかは一定の見解は得られていないのが現状である。正岡ら<sup>5)</sup>は、被包型胸腺腫に対しても縦隔内播種の存在を考え、術後のルーチンの照射を実施していると述べている。しかし、縦隔内播種の原因は術前の生検による可能性も否定できないと思われる。今回われわれは、術前に生検を行わず、確





(a) ×100



(b) ×400

Fig.7 病理組織所見

定診断がついていなかったこともあり、腫瘍摘出術のみ施行した。組織学的にも完全摘出できており、今後の補助療法について検討が必要と考える。症例の蓄積とその追跡調査により、標準的治療の確立が待たれる。

#### 結語

右胸腔内に巨大発育した被包型胸腺腫の1手術例を経験した。

#### 文献

- 1) 勝田浩司, 高成秀樹. 広範な遠隔転移を示した被包型胸腺腫の1例. 三重医学 1989;32:457-460.
- 2) Bernatz PE, Harrison EG, Clagett OT. Thymoma. A clinicopathologic study. J Thorac Cardiovasc Surg 1961;42:424.
- 3) Masaoka A, Monden Y, Nakahara K, et al. Follow-up study of thymomas with special reference to their clinical stages. Cancer 1981;48:2485-2492.
- 4) Fechner RE. Recurrence of noninvasive thymomas. Report of four cases and review of literature. Cancer 1969;23:1423-1427.
- 5) 正岡昭. 呼吸器外科学 (第1版). 南山堂, 1989; 277-290.

## A Case of Giant Thymoma Growing to Right Thorax

Jun ASAKURA<sup>1)</sup>, Hideki MATSUDAIRA<sup>1)</sup>, Jun HIRANO<sup>1)</sup>, Masamichi TAKAGI<sup>1)</sup>,  
Isao MIYOSHI<sup>1)</sup>, Masataka MASUBUCHI<sup>1)</sup>, Sdao ANAZAWA<sup>1)</sup>, Youji YAMAZAKI<sup>1)</sup>,  
Kouichi NOMURA<sup>2)</sup>, Shinji FUKUNAGA<sup>2)</sup>

*Department of Surgery<sup>1)</sup>, Department of Pathology<sup>2)</sup>, The Jikei University School of Medicine*

#### Abstract

We operated a giant tumor growing to right thorax. Pathologically the tumor was diagnosed noninvasive thymoma.

**Key words** Thymoma, Noninvasive, Giant.

## 頭痛・眩暈にて発症した原発性肺癌による髄膜癌腫症の1例

原 弘道<sup>1)</sup>, 宮田秀一<sup>1)</sup>, 斎藤隆俊<sup>1)</sup>, 四方千裕<sup>1)</sup>  
土屋昌史<sup>1)</sup>, 岡 尚省<sup>2)</sup>, 吉村邦彦<sup>1)</sup>, 田井久量<sup>1)</sup>  
(慈大青戸病院呼吸器・感染症内科<sup>1)</sup> 同神経内科<sup>2)</sup>)

### 症 例

48歳男性。2000年8月頃から、頭痛・眩暈が出現。10月12日、症状が増悪し、近医にて頭部CT、MRI等を施行するも異常を認めなかった。11月には、意識消失発作も出現したため、当院紹介受診、外来にて経過観察となった。12月4日激しい頭痛とともに、眼球運動障害も出現したため、精査加療目的にて入院となった。

入院時身体所見上、項部硬直、右眼の外転制限を認め、頭蓋内器質病変を疑い、頭部CT、MRIを施行するも、画像上異常所見は認めなかった。髄液穿刺にて、60cmH<sub>2</sub>Oを越える髄液圧の著明な上昇と細胞数の増加、CEAの異常高値を認め、髄液の細胞診にて腺癌細胞が検出されたため、髄膜癌腫症と診断した。胸部X線上上肺野外側に2cm大の腫瘍影を認め、同部位よりCT下生検を行ない、胞体が豊かで核小体の明瞭な異型細胞の乳頭状の増殖を認め、高分化型の腺癌と診断、髄液中に認められた細胞と同一の細胞と考えられ、原発性肺癌による髄膜癌腫症と最終診断した。

入院後、頭蓋内圧上昇に対し、ステロイド、グリセオールの投与を行なった。さらにOmmaya reservoirを設置し、右側脳室よりメソトレキセート (MTX) 10mgを週2回、計4週投与した。その結果、意識消失発作も消失し、頭痛も改善、髄液圧も10cmH<sub>2</sub>O程度にまで低下、髄液中の細胞数、CEAも減少し、細胞診も陰性化した。

### 考 察

髄膜癌腫症は、剖検例では癌全体の5～8%に認められ、とくに肺癌では約2%の症例に合併するとされている。平均生存期間は、非治療例で6～8週以下、治療例でも5.8ヵ月程度と、非常に予後の悪い病態である。

治療として、抗癌剤の髄腔内投与（腰椎・脳室）、全身投与、放射線治療、VPシヤントなどがあるが、神経症状のある部位や、くも膜下腔で画像上閉塞が疑われる部位に放射線を照射し、抗癌剤の髄腔内投与を併用するのが標準的である。

本症例の場合、著明な脳圧亢進をきたしているにも拘わらず、脳圧亢進に伴う水頭症を起こしていないこと、症状に動揺性があったことから、脳圧は常に高いわけではないと推測された。腫瘍細胞が閉塞部位に定着していないため、髄液がくも膜顆粒で吸収されるまでの間に閉塞により脳圧が上昇し、その後解除されると低下するということを反復していたものと考えられた。画像所見上も、くも膜下腔に増強部位が認められていないことから、腫瘍細胞の増殖が緩徐で、髄液内で浮遊している細胞が多く、脳や脊髄の組織に定着している細胞が少ないと推測された。髄腔内化学療法は、くも膜下腔の浮遊腫瘍細胞に対して有効であるとされ、治療により、髄膜刺激症状が改善、消失する例が多いとされている。本症例でもOmmaya reservoirによりMTX髄注を行ない、病状が安定した。

## **A Case of Meningeal Carcinomatosis Caused by Lung Adenocarcinoma Presenting Severe Headache and Dizziness as Initial Clinical Manifestations**

Hikomichi HARA<sup>1)</sup>, Shuichi MIYATA<sup>1)</sup>, Takatoshi SAITO<sup>1)</sup>, Chihiro SHIKATA<sup>1)</sup>, Masahito TSUCHIYA<sup>1)</sup>, Hisayoshi OKA<sup>2)</sup>, Kunihiko YOSHIMURA<sup>1)</sup>, Hisakazu TAI<sup>1)</sup>,

*<sup>1)</sup> Division of Respiratory and Infectious Diseases,*

*<sup>2)</sup> Division of Neurology, Department of Internal Medicine,  
Aoto Hosohita, Jikei University School of Medicine*

## 第 50 回慈大呼吸器疾患研究会 記録

日 時 2001 年 3 月 5 日 (月) 18:00~20:00

会 場 東京慈恵会医科大学 南講堂

製品情報紹介 (18:00~18:10) ————— エーザイ株式会社 医薬事業部

開会の辞 (18:10~18:13) ————— 増渕正隆 (慈大 第三病院 外科)

一般演題 I (18:13~19:00) ————— 座長 三好 勲 (慈大 第三病院 外科)

(1) 血中アデノウイルスDNAの検出された肺気腫の 1 例

アムス・ランドマーク・クリニック ○今泉忠芳

(2) 右胸腔内に巨大発育した胸腺腫の 1 手術例

慈大 第三病院 外科<sup>1)</sup> ○朝倉 潤<sup>1)</sup> 平野 純<sup>1)</sup> 高木正道<sup>1)</sup>

慈大 附属病院 外科<sup>2)</sup> 三好 勲<sup>1)</sup> 増渕正隆<sup>1)</sup> 穴澤貞夫<sup>1)</sup>

慈大 第三病院 病院病理部<sup>3)</sup> 山崎洋次<sup>2)</sup> 野村浩一<sup>3)</sup> 福永真治<sup>3)</sup>

(3) Wegener肉芽腫症の 1 症例

国立国際医療センター 呼吸器科 ○安久昌吾 吉澤篤人 河石 真

小林信之 工藤宏一郎

一般演題 II (19:00~19:57) — 座長 竹田 宏 (慈大 第三病院 呼吸器・感染症内科)

(4) 外眼筋麻痺と喘息を伴う肺浸潤影を認めた好酸球増多症の 1 例

慈大 附属病院 呼吸器内科<sup>1)</sup> ○松尾七重<sup>1)</sup> 木村 啓<sup>1)</sup> 佐藤敬太<sup>1)</sup>

同 耳鼻咽喉科<sup>2)</sup> 村松弘康<sup>1)</sup> 古田島 太<sup>1)</sup> 佐藤哲夫<sup>1)</sup>

同 眼科<sup>3)</sup> 田井久量<sup>1)</sup> 宮崎日出海<sup>2)</sup> 敷島敬悟<sup>3)</sup>

同 病院病理部<sup>4)</sup> 河上牧夫<sup>4)</sup>

(5) 頭痛・眩暈にて発症した原発性肺癌による髄膜癌腫症の 1 例

慈大 青戸病院 呼吸器・感染症内科<sup>1)</sup> ○原 弘道<sup>1)</sup> 齋藤隆俊<sup>1)</sup> 宮田秀一<sup>1)</sup>

同 神経内科<sup>2)</sup> 四方千裕<sup>1)</sup> 土屋昌史<sup>1)</sup> 岡 尚省<sup>2)</sup>

吉村邦彦<sup>1)</sup> 田井久量<sup>1)</sup>

(6) 胸腔鏡下肺生検にてGIP様所見を認めた間質性肺炎の 1 例

慈大 第三病院 呼吸器・感染症内科<sup>1)</sup> ○多田浩子<sup>1)</sup> 深沢健至<sup>1)</sup> 青木 薫<sup>1)</sup>

同 外科<sup>2)</sup> 竹田 宏<sup>1)</sup> 石井慎一<sup>1)</sup> 岡田明子<sup>1)</sup>

同 病院病理部<sup>3)</sup> 牛尾龍朗<sup>1)</sup> 木村哲夫<sup>1)</sup> 齊藤桂介<sup>1)</sup>

田井久量<sup>1)</sup> 増渕正隆<sup>2)</sup> 三好 勲<sup>2)</sup>

高木正道<sup>2)</sup> 福永真治<sup>3)</sup>

(7) 頭頂部皮膚転移を伴った肺扁平上皮癌の 1 例

富士市立中央病院 内科<sup>1)</sup> ○小野寺玲利<sup>1)</sup> 井上 寧<sup>1)</sup> 木下 陽<sup>1)</sup>

同 病理部<sup>2)</sup> 児島 章<sup>1)</sup> 徳田忠昭<sup>2)</sup>

閉会の辞 (19:57~20:00) ————— 久保宏隆 (慈大 柏病院 外科)

会 長 佐藤哲夫  
当番世話人 増渕正隆

共催：慈大呼吸器疾患研究会，エーザイ株式会社

## 慈大呼吸器疾患研究会 50 回によせて

研究会 会長  
呼吸器内科 佐藤哲夫

本研究会は 1988 年 11 月 16 日に第 1 回が開催され、J.M.B.Hughes 教授と本間日臣先生により特別講演がおこなわれました。私事で恐縮ですが当時私は他大学に勤務しており、研究会立ち上げの頃の事情はよく判りませんが慈恵医大で呼吸器の臨床を活発にしようという意気込みがありありと伝わってきます。

会誌創刊号に阿部元学長が寄せられた本会発足に対するメッセージには、慈恵医大ではそれまで必ずしも呼吸器の臨床が十分なされていなかったが今回、谷本教授、岡野教授をお迎えして体制が整ったというようなことが書かれております。それから 14 年経過して、50 回を越す研究会が開催され、今までの足跡を振り返ってみると、その充実した内容に驚かされます。慈恵に戻り初めてこの研究会に参加させていただいた時、規模はこじんまりしているが、普段の各専門学会の時とは違った角度での質問が多く、熱心なディスカッションがおこなわれ、大変有意義であるという印象を受けました。ここで発表された症例や研究は、非常に多彩であり、また、発足当時からご協力いただいている国立国際医療センターの工藤先生、虎の門病院の中田先生、三宿病院の中森先生、共済病院の今泉先生はじめ東京通信病院の森成先生、久田先生などには心から御礼を申し上げます。かつて慈恵医大は呼吸器内科が弱いと言われていた頃から見ると、先輩諸氏の努力の賜物で現在ではそれなりの基盤が出来つつあるのではないかと思えるようになりました。

さて、今後の展望ですが、本学での診療科体制が整いつつある現在、臨床の実力を蓄え、研究へも更に力を注ぐべき時が到来しています。研究会を通して切磋琢磨することがこの会をさらに発展させるものであると信じます。そして、故川上憲司教授のご努力で正式な学術雑誌として登録された本誌を更に充実させ、例えば貴重な症例や研究発表のフルペーパーをもっと多く掲載し、他施設から引用されるような雑誌へと発展させていきたいと思えます。関係各位のさらなる協力とご鞭撻をお願いする次第であります。

## 呼吸器疾患研究会への期待

学長 阿部 正和

第1回慈大呼吸器疾患研究会の発表を心からお祝い申し上げます。それも、わが国における呼吸器疾患臨床医の第一人者である本間日臣先生と、英国ハマー・スミス病院のHughes教授のお二人をお迎えして発表できたことはなんとすばらしいことでしょう。私は、本研究会の将来の発展を期待し、祝福を送ります。

これまで慈恵は、呼吸器疾患の臨床に弱いという評価を受けていました。もちろん、学内には肺機能の基礎と臨床的研究を手がけていた一流の研究者はおりましたが、内科の主流としてこの方面に取り組む方がなかったわけです。しかし、今や、その時が到来しました。

第3病院内科第二講座の主任教授として、本学卒業以来虎の門病院において肺疾患の臨床一筋に歩いてこられた岡野弘教授を迎えました。さらに第四内科の定員外教授として、わが国の肺疾患臨床の第一人者である谷本普一先生が就任してくださることを快諾してくださったのであります。私の大きな喜びでありました。このお二人の先生の指導を得て、慈恵の呼吸器疾患の研究と臨床は強くはばたいて発展してくれるものと確信します。

さらにまた、第1回の研究会とはいいながら、90人余りの同好の志が参集されたことは、私にとって大きな驚きでもあった。こんなに多くの方がたが、この方面に関心を寄せていながら、大学としてひとつの力として結集できなかったことに、私は強い責任を感じたのであった。この第1回研究会を契機に、本学における呼吸器疾患の研究と臨床とが発展することを願う気持切なるものがあります。

本研究会の今後の定期的開催を祈ります。「継続は力なり」であります。

## 呼吸器疾患研究会過去世話人一覧 (1)

1988～2001年

	日 程	当番世話人
第 1 回	1988 年(昭和 63 年)11 月 16 日	谷本 普一 先生
第 2 回	1989 年(平成元年) 3 月 13 日	伊坪 喜八郎 先生
第 3 回	6 月 12 日	貴島 政邑 先生
第 4 回	9 月 25 日	岡野 弘 先生
第 5 回	12 月 18 日	牛込 新一郎 先生
第 6 回	1990 年(平成 2 年) 3 月 12 日	川上 憲司 先生
第 7 回	6 月 18 日	飯倉 洋治 先生
第 8 回	9 月 17 日	島田 孝夫 先生
第 9 回	12 月 5 日	桜井 健司 先生
第 10 回	1991 年(平成 3 年) 3 月 4 日	徳田 忠昭 先生
第 11 回	6 月 17 日	伊坪 喜八郎 先生
第 12 回	9 月 9 日	貴島 政邑 先生
第 13 回	12 月 2 日	岡野 弘 先生
第 14 回	1992 年(平成 4 年) 3 月 16 日	牛込 新一郎 先生
第 15 回	7 月 6 日	天木 嘉清 先生
第 16 回	9 月 28 日	川上 憲司 先生
第 17 回	1993 年(平成 5 年) 1 月 25 日	飯倉 洋治 先生
第 18 回	3 月 15 日	徳田 忠昭 先生
第 19 回	6 月 14 日	島田 孝夫 先生
第 20 回	9 月 27 日	伊坪 喜八郎 先生
第 21 回	12 月 13 日	桜井 健司 先生
第 22 回	1994 年(平成 6 年) 2 月 28 日	岡野 弘 先生
第 23 回	6 月 27 日	天木 嘉清 先生
第 24 回	9 月 26 日	川上 憲司 先生
第 25 回	12 月 19 日	飯倉 洋治 先生
第 26 回	1995 年(平成 7 年) 3 月 20 日	徳田 忠昭 先生 羽野 寛 先生
第 27 回	6 月 26 日	久保 宏隆 先生 秋葉 直志 先生

## 呼吸器疾患研究会過去世話人一覧 (2)

1988 ~ 2001 年

	日 程	当番世話人
第 28 回	1995 年(平成 7 年) 9 月 25 日	島田 孝夫 先生
第 29 回	12 月 4 日	佐藤 哲夫 先生
第 30 回	1996 年(平成 8 年) 3 月 11 日	田井 久量 先生
第 31 回	6 月 24 日	川上 憲司 先生
第 32 回	10 月 7 日	徳田 忠昭 先生 羽野 寛 先生
第 33 回	12 月 16 日	久保 宏隆 先生
第 34 回	1997 年(平成 9 年) 3 月 17 日	佐竹 司 先生
第 35 回	6 月 23 日	秋葉 直志 先生
第 36 回	9 月 29 日	佐藤 哲夫 先生
第 37 回	12 月 15 日	矢野 平一 先生
第 38 回	1998 年(平成 10 年) 4 月 20 日	増渕 正隆 先生
第 39 回	6 月 29 日	徳田 忠昭 先生 羽野 寛 先生
第 40 回	9 月 21 日	久保 宏隆 先生
第 41 回	1999 年(平成 11 年) 1 月 18 日	佐竹 司 先生
第 42 回	4 月 5 日	秋葉 直志 先生
第 43 回	6 月 28 日	佐藤 哲夫 先生
第 44 回	9 月 27 日	田井 久量 先生
第 45 回	12 月 6 日	福田 国彦 先生
第 46 回	2000 年(平成 12 年) 3 月 6 日	堀 誠治 先生
第 47 回	6 月 5 日	中森 祥隆 先生
第 48 回	9 月 18 日	吉村 邦彦 先生
第 49 回	12 月 4 日	矢野 平一 先生
第 50 回	2001 年(平成 13 年) 3 月 5 日	増渕 正隆 先生
第 51 回	6 月 25 日	久保 宏隆 先生 佐竹 司 先生
第 52 回	10 月 1 日	秋葉 直志 先生



1988～2001年

vol.1～vol.13 no.1

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1989；vol.1

## 第1回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1988年11月16日(水) 18:00～20:00

会 場 大学2号館10階セミナールームA

呼吸器疾患研究会への期待：阿部正和。1989；1：1.

特別講演 呼吸器病学の流れと未来への展望：本間日臣  
(放送大学)特別講演 Pulmonary Gas Exchange: J.M.B Hughes (英  
国ハマースミス病院)1-1 喀痰由来緑膿菌の特性に関する2～3の検討：増田  
昭吾，白髭章，関啓子，小笠原正美，櫻田純次，村  
井美代，荒井美子。1989；1：3.1-2 肺葉切除後肺炎(両側)をくり返し死亡した1例：  
吉井修二，小村伸朗，貴島政臣。1989；1：5.1-3 携帯用インフュージョンポンプによりコントロール  
できた難治性気管支喘息の1例：野口真幸，中田絃  
一郎(虎の門病院)。1989；1：6.1-4 Necrotizing Sarcoid Granulomatosisの1例：古田島  
太，佐野光一，大山典明，谷本普一，岡村哲夫，池上  
雅博。1989；1：7.1-5 両肺の広範な陰影を有する遷延性の肺炎の1例：  
王金城，田井久量，岡野弘，二階堂考，徳田忠昭。  
1989；1：8.1-6 家族性肺線維症の5例：小松崎克己，佐藤寿伸，有  
岡仁，田辺修，宇都宮弘子，可部順三郎(国立病院  
医療センター)。1989；1：9.1-7 間質性肺炎に対する<sup>67</sup>Gaシンチグラフィの意義：  
森豊，長瀬雅則，宇都宮正範，川上憲司。1989；1：10.1-8 <sup>125</sup>I-IMP肺シンチグラム；閉鎖性肺炎患への応用を  
中心に：長瀬雅則，宇都宮正範，森豊，川上憲司。  
1989；1：12.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1989；vol.2

## 第2回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1989年3月13日(月) 18:00～20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階会議室

特別講演 巨大気腫性肺嚢胞の病態と治療：大畑正昭  
(日本大学医学部第二外科)。1999；2：2.2-1 進行肺癌切除症例の検討：半澤隆，桜井雅夫，北  
俊文，増淵正隆，三好勲，楠山明，佐藤修二，村田  
聰，伊坪喜八郎。1989；2：6.2-2 ヒト胎児肺のリンパ管流注経路～気管の背側を通  
るリンパ管路について：早川敏之，国府田稔，山下  
廣。1989；2：7.2-3 自然気胸術後の局所換気機能：金森真美，中田典  
夫，長瀬雅則，森豊，川上憲司，島田孝夫，半沢隆，  
伊坪喜八郎。1989；2：8.2-4 気管支喘息に対するβ刺激剤の効果のラジオア  
イソトープによる評価：小幡俊彦，正木拓朗，島田孝夫，  
川上憲司，\*飯倉洋治(\*国立小児病院)。1989；2：10.2-5 気管支洗浄が奏効した喘息重発作4例の治療体験：  
田辺修，有岡仁，芝崎太，宇都宮宏子，小松崎克己，  
佐藤幸美，平山典保，石井彰，工藤宏一郎，可部順三  
郎，柳下芳寛。1989；2：11.2-6 当初間質性肺炎と診断された肺胞蛋白症の1例：  
佐野光一，中村尚夫，徳久靖高，谷本普一，岡村哲夫。  
1989；2：12.2-7 睡眠時無呼吸症候群の治療(鼻CPAP)：成井浩司，  
野口昌幸，中谷龍三，蝶名林直彦，中森祥隆，中田絃  
一郎(虎の門病院)。1989；2：13.2-8 眼，皮膚，心臓と進展がみられた肺サルコイドーシ  
スの1例：土屋匠，荻原正雄，井田徹也(富士市立中央  
病院)。1989；2：14.2-9 アスペルギルスによる好酸球性肺炎とOKT4抗原  
欠損を有した1例：青木薫，王金城，広瀬博章，長  
沢博，田井久量，岡野弘，蓮村誠，徳田忠昭。1989；  
2：15.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1989；vol.3

## 第3回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1989年6月12日(月) 18:00～20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室

依頼講演 肺アスペルギローマの臨床的考察：岡野弘。  
1989；3：23-1 ミルクアレルギーの疑われたCrycopharyngeal inco  
ordinationの1乳児例：橋本光司，秋本憲一，赤澤晃，  
斉藤博久，勝沼俊雄，飯倉洋治，土田嘉昭，本名敏郎，  
上井義之(国立小児病院)。1989；3：6.3-1 マレーシアで発病したノカルジア肺炎の1例：佐  
野光一，真家健一，谷本普一，岡村哲夫，井上育忠。  
1989；3：7.3-3 嚢胞性肺炎患の核医学検査：神立進，森豊，川上  
憲司，島田孝夫，\*富永滋(\*順天堂大)。1989；3：8.3-4 腫瘍型筋病変を伴った心サルコイドーシスの1例：  
山口昭彦，坪井永保，成井浩司，野口昌幸，中谷竜王，  
中森祥隆，蝶名林直彦，中田絃一郎，西山信一郎，海  
上雅光(虎の門病院)。1989；3：11.3-5 右肺上葉気管支周囲リンパ節にみられたCastleman  
リンパ腫の1例：半澤隆，三好勲，北俊文，三森教  
雄，伊坪喜八郎，王金城，岡野弘，二階堂考，徳田  
忠昭。1989；3：12.3-6 食道破裂にて胃液汚染による胸膜炎を起こし経過  
難渋した1剖検例：武石昌則，関本健人，磯貝行秀，  
小野敏孝，藤森努，貴島政臣，二階堂考。1989；3：13.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1989；vol.4

## 第4回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1989年9月25日(月) 18:00～20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室

特別講演 気管支喘息と抗アレルギー薬：可部順三郎  
(国立病院医療センター)．1989；4：2．

4-1 弛張一間歇熱を伴った肺大細胞癌の1例：秋葉直志，安田雄一郎，氏家久，桜井健司，川井三恵，渡辺久之，谷本普一，遠藤泰彦．1989；4：4．

4-2 Lobar Torsionを来した肺癌の1例：石原潔，三浦寿美子，川上憲司，多田信平．1989；4：8．

4-3 術前肺癌と結核との鑑別に苦慮した症例の検討：増淵正隆，楠山明，佐藤修二，村田聡，北俊文，桜井雅夫，半澤隆，伊坪喜八郎．1989；4：9．

4-4 肺シンチグラフィにて肺腫瘍塞栓と診断した肝細胞癌の1例：橋爪良幸，後藤英介，川上憲司，山根建樹，渡辺文時．1989；4：10．

4-5 Unilateral Hyperlucent Lungに気管支喘息を合併した1例：蝶名林直彦，梶博文，渡辺知司，坪井永保，山口昭彦，成井浩司，野口昌幸，中谷龍王，中森祥隆，中田紘一郎(虎の門病院)．1989；4：12．

4-6 肺蛋白症2例における肺洗浄療法の検討：古田島太，鈴木昭彦，文弘，吉武典昭，浜野研二，谷本普一，岡村哲夫，田中正史，谷藤泰正．1989；4：13．

4-7 好酸球性肺炎の1例：青木薫，田井久量，岡野弘，二階堂孝，徳田忠昭．1989；4：14．

4-8 喘息例の気道障害の核医学的検討：島田孝夫，伊藤秀稔，小幡俊彦，森豊，川上憲司，\*飯倉洋治(\*国立小児病院)．

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1990；vol. 2 no. 1

## 第5回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1989年12月18日(月) 18:00～20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室

特別講演 肺線維症を中心として：松本武四郎．1990；2(1)：2．

5-1 手術的に治癒せしめた術後遅発性左主気管支瘻の1例：秋葉直志，河野修三，安田雄一郎，工藤十左衛門，宮本栄，氏家久，桜井健司，増田勝紀．1990；2(1)：5．

5-2 肺転移から空洞形成を来し，気胸を繰り返した悪性血管内皮腫の1例：放生雅章，有岡仁，小松崎克己，田辺修，石井彰，堀内正，工藤宏一郎，可部順三郎，中内洋一，浅野正英(国立病院医療センター)．1990；2(1)：8．

5-3 胸壁 Alveolar soft part sarcoma の1例：土屋克己，楠山明，三好勲，村田聡，佐藤修二，北俊文，増淵正

隆，桜井雅夫，半澤隆，伊坪喜八郎，高木敬三，徳田忠昭．1990；2(1)：9．

5-4 肺クリプトコッカス症の2例：王金城，長澤博，広瀬博章，工藤律，田井久量，岡野弘，堀真佐男，高木敬三，徳田忠昭．1990；2(1)：11．

5-5 家族内発生をみたオウム病の3例：坪田昭人，成井浩司，野口昌幸，中谷龍王，中森祥隆，蝶名林直彦，中田紘一郎(虎の門病院)．1990；2(1)：12．

5-6 間質内リンパ球浸潤を呈した肺限局性陰影の1例：佐野光一，高木寛，小原誠，谷本普一，岡村哲夫，酒田昭彦．1990；2(1)：13．

5-7 異常陰影が胸部X線上消失したにもかかわらず，呼吸不全が存在し，CTと臨床経過よりBOOPと考えられた1例：内田和宏，帆足誠司，相原一夫，野原秋男，景山茂，横山淳一，磯貝行秀，谷本普一．1990；2(1)：14．

5-8 肺線維症における換気血流ミスマッチ：鈴木昭彦，阿部達之，後藤英介，森豊，川上憲司．1990；2(1)：16．

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1990；vol. 2 no. 2

## 第6回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1990年3月12日(月) 18:00～20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室

特別講演 運動誘発喘息の病態：堀江孝至(日本大学医学部第一内科)．1990；2(2)：2．

6-1 肺癌を合併したTracheopathia Osteochondroplasticaの1例：中林幸夫，秋葉直志，大木隆生，安田雄一郎，氏家久，沼田明，二階堂孝，桜井健司．1990；2(2)：4．

6-2 肺癌を合併した両側巨大気腫性肺嚢胞症の1例：土屋克彦，楠山明，村田聡，佐藤修二，増淵正隆，桜井雅夫，半澤隆，伊坪喜八郎，高木敬三，徳田忠昭．1990；2(2)：6．

6-3 骨形成を伴った肺腺癌の1例：山口昭彦，中森祥隆，中田紘一郎(虎の門病院)．1990；2(2)：8．

6-4 肺血栓塞栓症の9例：佐野光一，高木寛，小原誠，谷本普一，岡村哲夫．1990；2(2)：10．

6-5 咳嗽と労作時呼吸促迫を主訴とし，診断に苦慮する1例：野々村和男，斎藤博久，秋本憲一，勝沼俊雄，飯倉洋治，\*海老澤元宏，赤澤晃，栗原和幸，\*椿俊和，宮坂勝之(国立小児病院，\*国立小児医療研究センター，\*東埼玉病院)．1990；2(2)：11．

6-6 夏型過敏性肺臓炎の1例：玉利真由美，王金城，広瀬博章，長澤博，工藤律，田井久量，岡野弘．1990；2(2)：12．

6-7 小児の気管支喘息発作時の動脈血液ガスの変化：小幡俊彦，正木拓朗，松田秀一，飯倉洋治．1990；2(2)：13．

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1990; vol. 2 no. 3

## 第7回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1990年6月18日(月) 18:00~20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室

特別講演 呼吸器核医学によって何がわかるか: 島田孝夫. 1990; 2 (3): 2.

7-1 咯血を繰り返した肺アスペルギルス症の1例: 秋葉直志, 氏家久, 大木隆生, 栗原英明, 安田雄一郎, 桜井健司, 妹尾篤史, 立石修, 谷本普一. 1990; 2 (3): 6.

7-2 完全房室ブロックで発症し, 肺腺維化を呈したサルコイドーシスの1例: 高木寛, 佐野光一, 谷本普一, 岡村哲夫. 1990; 2 (3): 8.

7-3 背部腫瘍で発見され, その後腸転移による腸閉塞をきたした気管支 Mucoepidermoid Carcinoma の1例: 長澤博, 川西美輪, 王金城, 田井久量, 岡野弘, 富田泰次, 梶原敏英, 高田警嗣, 広原鐘一, 吉見優, 橋口文智, 半澤隆, 伊坪喜八郎, 徳田忠昭, 高木敬三, 加藤弘之. 1990; 2 (3): 11.

7-4 気腫性肺嚢胞および肺大細胞癌を合併した von Recklinghausen 病の1剖検例: 廣田佳行, 藤川透, 永野允. 1990; 2 (3): 12.

7-5 Omental patch による気管支瘻修復の経験(症例): 貴島政邑, 羽生信義, 柳沢暁, 柏木三喜也. 1990; 2 (3): 13.

7-6 上顎洞炎を合併する小児気管支喘息に関する臨床的検討: 小田島安平, 小田島優子, 佐藤憲司, 広瀬久忠, 生井明浩, \*榎木みよし, \*北川照男(東松山市民病院, \*日本大学). 1990; 2 (3): 15.

7-7 Cyclophosphamide によると思われる肺腺維症の1剖検例: 田辺修, 帯刀誠, 小松崎克己, 放生雅章, 有岡仁, 有岡宏子, 古田島太, 石井彰, 堀内正, 工藤宏一郎, 可部順三郎(国立医療センター). 1990; 2 (3): 16.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1990; vol. 2 no. 4

## 第8回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1990年9月17日(月) 18:00~20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室

特別講演 細気管支病変の再整理: 谷本普一. 1990; 2 (4): 1.

8-1 診断, 治療に苦慮し, 最終的に腺癌と診断し得た1症例について: 太田英樹, 溝上恒夫, 島田孝夫, 影山茂, 磯貝行秀, 藤森努, 貴島政邑. 1990; 2 (4): 3.

8-2 肺胞上皮癌の2例: 佐野光一, 高木寛, 小原誠, 谷本普一, 岡村哲夫, 鯉沼博美, 小野英雄, 猪股出. 1990; 2 (4): 4.

8-3 びまん性汎細気管支炎の立体再構成(途中報告):

徳田忠昭, 田井久量. 1990; 2 (4): 5.

8-4 前縦隔悪性腫瘍の1例: 塩谷尚志, 秋葉直志, 巷野道雄, 三浦金次, 氏家久, 桜井健司, 吉田哲, 桑野稔, 内田和宏, 野村浩一, 牛込新一郎. 1990; 2 (4): 6.

8-5 気管支原性嚢腫の5症例: 三好勲, 佐藤修二, 増渕正隆, 北俊文, 土屋克彦, 桜井雅夫, 半澤隆, 伊坪喜八郎. 1990; 2 (4): 8.

8-6 気管支喘息時の High Frequency Vibration + IPPB による吸入効果の検討: 山下義文, 岩崎隋美, 松本広信, 椿俊和, 松田秀一, 赤澤晃, 杉原雄三, 小松孝充, 秋本憲一, 飯倉洋治(国立小児病院). 1990; 2 (4): 9.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1991; vol. 3 no. 1

## 第9回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1990年12月5日(月) 18:00~20:00

会 場 東京慈恵会医科大学西講堂

特別講演 肺癌における光線力学的診断治療法: 加藤治文(東京医科大学). 1991; 3 (1): 2.

9-1 気管支喘息に対する HFO の止痒; <sup>99m</sup>Tc エロゾル吸入分布による評価: 木村康子, 正木拓郎, 永倉俊和, 島田孝夫, 小幡俊彦, \*飯倉洋治(\*国立小児病院).

9-2 気胸の術後に血胸で発症した血管内腫胸膜播種の1例: 塩谷尚志, 秋葉直志, 大木隆生, 栗原英明, 巷野道雄, 三浦金次, 氏家久, 桜井健司, 下田忠和, 秋葉義方. 1991; 3 (1): 10.

9-3 肝脾腫と低コレステロール血症を伴う慢性気管支炎と思われる1男児例: 小幡俊彦, 浦島充佳, 小林尚明, 高橋望, 豊田茂, 赤塚順一. 1991; 3 (1): 12.

9-4 乳び胸で発見され, 腹部リンパ節生検にて悪性リンパ腫と診断した1例: 岡田明子, 王金城, 長澤博, 田井久量, 岡野弘, 増渕正隆, 半澤隆, 伊坪喜八郎, 石井高暁, 福永眞治, 徳田忠昭. 1991; 3 (1): 13.

9-5 高熱を伴い縦隔鏡で診断した縦隔リンパ節結核の1例: 下川耕太郎, 本里恭子, 中森祥隆, 中田紘一郎, 友安浩, 海上雅光(虎の門病院). 1991; 3 (1): 14.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1991; vol. 3 no. 2

## 第10回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1991年3月4日(月) 18:00~20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室

特別講演 肺における線維化の病理: 斎木茂樹(聖路加国際病院) 1991; 3 (2): 2.

10-1 過誤腫性肺脈管筋腫症の2例: 内田和宏, 佐野光一, 妹尾篤史, 高木寛, 小原誠, 山崎さやか, 横打邦雄, 谷本普一, 岡村哲夫.

10-2 Swyer-James 症候群の2例: 工藤眞, 長澤博, 広瀬博章, 吉川誠, 王金城, 内山克己, 田井久量, 岡

野 弘. 1991; 3 (2): 9.

10-3 切除不能肺非小細胞癌に対する Vindesine, Ifosfamide, Cisplatin 併用化学療法 of 検討: 古田島 太, 深草元紀, 田辺紀子, 放生雅章, 有岡宏子, 小松崎克己, 有岡 仁, 可部順三郎. 1991; 3 (2): 10.

10-4 ニポーを伴う空洞形成を認めた肺サルコイドーシスの1例: 栗原英明, 秋葉直志, 塩谷尚志, 蓮村 誠, 巷野道雄, 三浦金次, 氏家 久, 永田尚之, 藤代健太郎, 藍沢茂雄, 谷本普一, 桜井健司. 1991; 3 (2): 11.

10-5 モノクローナル抗体JB-100による肺疾患組織染色所見: 今泉忠芳, 萩原正雄, 羽野 寛 (富士市立中央病院), 大野典也. 1991; 3 (2): 12.

10-6 小児気管支喘息患者における運動誘発性喘息の不応期のアイソトープによる検討: 小幡俊彦, \*杉本日出男 (\*東埼玉病院), 島田孝夫, 川上憲司, †飯倉洋治 (†国立小児病院). 1991; 3 (2): 13.

### 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1991; vol. 3 no. 3

#### 第11回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1991年6月17日(月) 18:00~20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室

特別講演 肺の線維化と気腫化: 太田保世 (東海大学医学部). 1991; 3 (3): 2.

11-1 胸腺腫が併存した胸腺嚢腫の1例: 栗原英明, 秋葉直志, 塩谷尚志, 大木隆生, 巷野道雄, 三浦金次, 氏家 久, 工藤澄彦, 山崎さやか, 池上雅博, 長村日出夫, 谷本普一, 桜井健司. 1991; 3 (3): 5.

11-2 抗酸菌塗沫陽性のため肺結核と診断された肺癌3例: 今泉忠芳, 萩原正雄 (富士市立中央病院). 1991; 3 (3): 6.

11-3 肺癌切除後, 再発例の検討: 佐藤修二, 土屋克彦, 三好 勲, 増淵正隆, 北 俊文, 桜井雅夫, 半澤 隆, 伊坪喜八郎. 1991; 3 (3): 7.

11-4 DPB 2例の再構成: 徳田忠昭, 田井久量. 1991; 3 (3): 8.

11-5 胸水を伴ったサルコイドーシスの1例: 竹田 宏, 岡島直樹, 湯橋容子, 内山克己, 王 金城, 広瀬博章, 長澤 博, 田井久量, 岡野 弘, 池上雅博, 石井高暁, 徳田忠昭.

11-6 睡眠時無呼吸症候群の1例: 内田和宏, 佐野光一, 増岡秀一, 高木 寛, 小原 誠, 渡辺禮二郎, 忽滑谷和孝, 笠原洋勇, 恩田光信, 真柄直郎, 谷本普一, 岡野哲夫. 1991; 3 (3): 9.

11-7 呼吸不全患者における予後関連因子の検討: 中島紀子, 放生雅章, 堀内 正, 古田島太, 有岡宏子, 有岡 仁, 小松崎克己, 田辺 修, 庄司俊輔, 工藤宏一郎, 可部順三郎 (国立病院医療センター) 1991; 3 (3): 11.

### 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1991; vol. 3 no. 4

#### 第12回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1991年9月9日(月) 18:00~20:00

会 場 東京慈恵会医科大学大学2号館1階カンファレンス AB

12-1 左胸腔内全域を占拠した巨大悪性限局型中皮腫の1手術例: 渡辺正光, 貴島政邑, \*安田栄一, †前田昭太郎 (\*安田病院, †日医大多摩永山病院). 1991; 3 (4): 2.

12-2 呼吸困難を伴った胸腺過形成の1手術例: 高木正道, 秋葉直志, 尾高 真, 塩谷尚志, 大木隆生, 三浦金次, 巷野道雄, 氏家 久, 桜井健司, 真家健一, 田野入高史, 高木敬三. 1991; 3 (4): 4.

12-3 前縦隔原発 GERM cell tumor の1例: 王 金城, 湯橋容子, 岡島直樹, 長澤 博, 田井久量, 岡野 弘, 楠山明, 桜井雅夫, 半澤 隆, 伊坪喜八郎, 野村浩一, 池上雅博, 徳田忠昭. 1991; 3 (4): 5.

12-4 肺癌患者の術前末梢血リンパ球の two-color 解析: 佐藤修二, 岩本公和, 高久仁利, 土屋克彦, 三好 勲, 増淵正隆, 北 俊文, 桜井雅夫, 半澤 隆, 伊坪喜八郎. 1991; 3 (4): 7.

12-5 上縦隔リンパ系結紮後の肺外リンパ管系; ヒト胎児の所見(第2報): 岸本幸次, 国分田稔, 早川敏之, 山下 廣, 若林真理.

12-6 著名な好酸球増多を呈した気管支喘息の1例: 椿俊和, 松田秀一, 赤澤 晃, 秋本憲一, 小幡俊彦, 飯倉洋治, 倉辻忠俊, 山田 節 (国立小児病院). 1991; 3 (4): 8.

12-7 換気血流分布に対するキサンチン誘導体の効果について: 木村康子, \*飯倉洋治, 島田孝夫, 磯貝行秀, 川上憲司 (\*国立小児病院).

12-8 この1年間における慈恵医大の肺塞栓症: 小川百合子, 石田広美, 池田勇一, 島田孝夫, 川上憲司. 1991; 3 (4): 9.

### 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1992; vol. 4 no. 1

#### 第13回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1991年12月2日(月) 18:00~20:00

会 場 東京慈恵会医科大学2号館カンファレンス AB

13-1 最近1年間の当院における気管支結核症例: 竹田 宏, 秋山一夫, 岡田明子, 菊地一郎, 岡島直樹, 王 金城, 広瀬博章, 長澤 博, 田井久量, 岡野 弘, 徳田忠昭, 池上雅博, 野村浩一. 1992; 4 (1): 2.

13-2 びまん性汎細気管支炎再構成のまとめ: 徳田忠昭, 田井久量. 1992; 4 (1): 4.

13-3 過誤腫性肺脈管筋腫症の1例: 多田浩子, 清水歩, 望月太一, 小松崎克己, 田辺 修, 谷本普一, 岡村哲夫, 二階堂隆. 1992; 4 (1): 6.

- 13-4 MRSA 感染患者における血清中および喀痰・唾液中 Vancomycin 濃度の検討：中谷龍王，坪井永保，成井浩司，中森祥隆，中田統一郎（虎の門病院）. 1992; 4 (1): 8.
- 13-5 血液疾患を併存した胸部外科手術症例：栗原英明，秋葉直志，高木正道，尾高 真，塩谷尚志，巷野道雄，三浦金次，氏家 久，桜井健司. 1992; 4 (1): 9.
- 13-6 イソプロテレノール静注療法にて救命し得た気管支喘息重積発作の1女児例：松田秀一，小幡俊彦，小渋達郎，椿 俊和，岩崎郁美，杉原雄三，赤澤 晃，松本健治，齋藤博久，飯倉洋治，阪井裕一，近藤陽一，宮坂勝之（国立小児病院）. 1992; 4 (1): 10.
- 13-7 急激な経過をとったびまん性間質性肺炎に対する ECMO 使用例：深草元紀（国立病院医療センター）. 1992; 4 (1): 12.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1992；vol. 4 no. 2

## 第 14 回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1992 年 3 月 16 日（月）18:00～20:00  
会 場 東京慈恵会医科大学高木会館 7 階 K 会議室

- 14-1 新しいクリニカルスコアによる喘息発作重症度の評価の試み：小幡俊彦，松田秀一，小渋達郎，椿 俊和，岩崎郁美，杉原雄三，赤澤 晃，飯倉洋治（国立小児病院）. 1992; 4 (2): 14.
- 14-2 長期呼吸管理を必要とした Guillain Barre 症候群の 1 例：秋山一夫，岡田明子，石井慎一，菊地一郎，竹田宏，岡島直樹，王 金城，広瀬博章，長澤 博，田井久量，岡野 弘. 1992; 4 (2): 15.
- 14-3 肺の換気・血流と体位変換：島田孝夫，田中 格，守谷悦男，関根 広，川上憲司，秋葉直志，富永 滋.
- 14-4 肋骨発生 Ewing 肉腫の 1 例：金子 靖，佐藤修二，桜井雅夫，半澤 隆，伊坪喜八郎，瀧川和俊，岡野 弘，池上雅博，徳田忠昭. 1992; 4 (2): 16.
- 14-5 術前悪性リンパ腫を疑った中縦隔腫瘍の 1 例：栗原英明，秋葉直志，塩谷尚志，大木隆生，安田雄一郎，巷野道雄，三浦金次，氏家 久，桜井健司，松井隆明，高木敬三. 1992; 4 (2): 18.
- 14-6 多発性斑上陰影を呈し TBLB で診断困難であった 1 症例：清水 歩，多田浩子，望月太一，小松崎克己，田辺 修，谷本普一，岡村哲夫，菊地 泰. 1992; 4 (2): 20.
- 14-7 Streptococcus milleri と Prevotella intermedia による濃胸の 1 例：千々岩晶子，坪井永保，成井浩司，中谷龍王，中森祥隆，中田統一郎，杉 裕子（虎の門病院）. 1992; 4 (2): 21.
- 14-8 肺サルコイドーシス病変の立体再構成による組織学的検討：羽野 寛，牛込新一郎，荻原正雄. 1992; 4

(2): 23.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1992；vol. 4 no. 3

## 第 15 回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1992 年 7 月 6 日（月）18:00～20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館 5 階 E 会議室

特別講演 人工呼吸法の進歩：佐竹司. 1992; 4 (3): 26.

- 15-1 CO<sub>2</sub> リテンションに対する doxapram hydrochloride の治療経験：田辺 修，桑野稔啓，日原義文，横打邦雄，小幡進一郎，藤本哲男，小松崎克己，望月太一，清水 歩，多田浩子，村松弘康，谷本普一，岡村哲夫. 1992; 4 (3): 30.
- 15-2 マイコプラズマ肺炎に対するロキシスロマイシン 2 治験例：多田浩子，荻原京子，吉武典昭，八木秀憲，小松崎克己，田辺 修，望月太一，清水 歩，松村弘康，谷本普一，岡村哲夫. 1992; 4 (3): 33.
- 15-3 診断に苦慮し，TBLB で確診された肺結核症例：岡島直樹，宮下吉宏，秋山一夫，岡田明子，石井慎一，竹田 宏，菊地一郎，王 金城，広瀬博章，長澤 博，田井久量，岡野 弘，遠藤泰彦，高木敬三，徳田忠昭. 1992; 4 (3): 35.
- 15-4 喘息を合併した重複癌の 1 例：岡崎仁，吉澤篤人，深草元紀，田辺紀子，古田島 太，放生雅章，堀内 正，工藤宏一郎，可部順三郎（国立病院医療センター）. 1992; 4 (3): 37.
- 15-5 小児気管支喘息患者に対する蒸留水吸入負荷試験の検討：小幡俊彦，坂口直哉，椿 俊和，小渋達郎，赤澤 晃，飯倉洋治（国立小児病院）. 1992; 4 (3): 38.
- 15-6 最近経験した興味ある胸壁腫瘍の 2 症例：三好 勲，増淵正隆，桜井雅夫，半澤 隆，伊坪喜八郎，高木敬三，徳田忠昭. 1992; 4 (3): 39.
- 15-7 寄生虫を用いたラット呼吸不全モデルにおける血中アンギオテンシン変換酵素についての検討：首藤義幸，高野次郎，大竹知子，豊田茂芳，天木嘉清，浜田篤郎，池上雅博. 1992; 4 (3): 41.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1992；vol. 4 no. 4

## 第 16 回慈大呼吸器疾患研究会

日 時 1992 年 9 月 28 日（月）18:00～20:00

会 場 東京慈恵会医科大学高木会館 7 階 K 会議室

特別講演 びまん性肺炎患の CT：土井 修（聖路加国際病院）. 1992; 4 (4): 44.

- 16-1 正常成人における高所滞在での中枢性無呼吸と低酸素性換気抑制：尾崎雅美，佐藤素生，天木嘉清. 1992; 4 (4): 62.
- 16-2 睡眠時呼吸障害を呈する種々疾患に対する nasal BiPAP 療法の効果に関する検討：岸 一馬，成井浩司，

- 坪井永保, 中谷龍王, 中森祥隆, 中田絢一郎 (虎の門病院), 野沢胤美 (昭和大学). 1992; 4 (4): 63.
- 16-3 胸腔鏡下フィブリン接着剤局注法を施行した自然気胸の1例: 内田和宏, 小沼康男, 浅川博, 西川勝則, 向井英晴, 松田兼一, 前田宜包, 中村紀夫, 多田浩子, 福村基之, 高木寛, 小原誠, 渡邊禮次郎. 1992; 4 (4): 64.
- 16-4 右胸腔内に多発性結節性発育を呈した転移性腫瘍の1例: 佐藤修二, 鈴木英之, 平野純, 金子靖, 土屋克彦, 三好勲, 増淵正隆, 桜井雅夫, 半澤隆, 伊坪喜八郎. 1992; 4 (4): 66.
- 16-5 縦隔・肺門リンパ節腫大を示した lymphnode reactive follicular hyperplasia の1例: 宮下吉弘, 岡田明子, 菊地一郎, 竹田宏, 王金城, 広瀬博章, 長澤博, 吉村邦彦, 田井久量, 岡野弘, 高木敬三, 遠藤泰彦, 池上雅博, 徳田忠昭. 1992; 4 (4): 68.
- 16-6 当科における胸腔鏡下肺手術の経験: 栗原英明, 秋葉直志, 三浦金次, 氏家久, 桜井健司. 1992; 4 (4): 69.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1993; vol. 5 no. 1

第17回慈大呼吸器疾患研究会

- 日時 1993年1月25日(月) 18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学2号館カンファランス AB  
特別講演 気道粘液線毛輸送系: 滝沢敬夫 (済生会栗橋病院). 1993; 5 (1): 1.
- 17-1 診断に苦慮した Vasclar Sling の1女兒例: 椿俊和, 坂口直哉, 小幡俊彦, 飯倉洋治, 阪井裕一, 宮坂勝之, 関口昭彦, 島田宗洋 (国立小児病院). 1993; 5 (1): 8.
- 17-2 糖尿病に併発した肺アスペルギルス症の1例: 武井豊, 山田弘徳, 高崎信子, 野原秋男. 1993; 5 (1): 9.
- 17-3 原発性肺平滑筋肉腫の1例: 坪井永保, 成井浩司, 中谷龍王, 中森祥隆, 中田絢一郎, 伴場次郎, 谷村繁雄, 松下央 (虎の門病院). 1993; 5 (1): 10.
- 17-4 メソトレキセートによる薬剤性肺炎を起こした慢性関節リウマチの1例: 上村光弘, 大橋亜紀子, 田辺紀子, 放生雅章, 有岡宏子, 杉山温人, 堀内正, 工藤宏一郎 (国立病院医療センター), 可部順三郎 (国療中野病院). 1993; 5 (1): 12.
- 17-5 縦隔腫瘍診断における  $^{201}\text{Tl}$ ,  $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -DTPA SPECT の有用性の検討: 野田剛, 秋葉直志, 栗原英明, 三浦金次, 氏家久, 桜井健司, 島田孝夫, 川上憲司. 1993; 5 (1): 13.
- 17-6 肺癌患者における周術期細胞性免疫能の変動に関する検討: 佐藤修二, 岩本公和, 平野純, 羽田文紀, 渡辺直哉, 土屋克彦, 三好勲, 半澤隆, 伊坪喜八郎. 1993; 5 (1): 14.

- 17-7 気道線毛上皮輸送速度の測定法の開発: 成田浩人, 金井徳昭, 平野清, 川上憲司, 島田孝夫. 1993; 5 (1): 16.
- 17-8 傷害鼻粘膜細胞の電顕的観察: 羽野寛, 高崎徒, 牛込新一郎, \*荻原正雄 (\*富士市立中央病院). 1993; 5 (1): 19.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1993; vol. 5 no. 2

第18回慈大呼吸器疾患研究会

- 日時 1993年3月15日(月) 18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学2号館カンファランス AB  
特別講演 緑膿菌呼吸器感染症の臨床: 谷本普一. 1993; 5 (2): 24.
- 18-1 胸壁振動刺激が慢性呼吸器疾患における呼吸困難感に及ぼす効果: 渋谷まさと, 山田峰彦, 金丸新, 田中一正, 鈴木一, 野口英世, 本間生夫 (昭和大学医学部). 1993; 5 (2): 27.
- 18-2 好酸球性肺炎の1例: 竹田宏, 吉松千晶, 津久井充広, 宮下吉弘, 石井慎一, 菊地一郎, 児島章, 広瀬博章, 長澤博, 吉村邦彦, 田井久量, 岡野弘, 遠藤泰彦, 高木敬三, 徳田忠昭. 1993; 5 (2): 28.
- 18-3 閉塞性呼吸機能障害を呈した *Mycoplasma pneumoniae* による細気管支炎の1例: 川畑雅照, 中谷龍王, 坪井永保, 中森祥隆, 成井浩司, 中田絢一郎 (虎の門病院). 1993; 5 (2): 30.
- 18-4 呼吸器疾患と CA19-9: 今泉忠芳 (富士市立中央病院). 1993; 5 (2): 31.
- 18-5 拡大手術を必要とした縦隔腫瘍の検討: 桜井雅夫, 鈴木英之, 土屋克彦, 佐藤修二, 三好勲, 増淵正隆, 北俊文, 半澤隆, 伊坪喜八郎. 1993; 5 (2): 32.
- 18-6 筋肉充填が奏効した術後気管支瘻の1例: 松本美和子, 秋葉直志, 栗原英明, 塩谷尚志, 三浦金次, 大木隆生, 桜井健司. 1993; 5 (2): 33.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1993; vol. 5 no. 3

第19回慈大呼吸器疾患研究会

- 日時 1993年6月14日(月) 18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学2号館カンファランス AB  
特別講演 慢性下気道感染症例の線毛上皮細胞の病態〜特に電子顕微鏡所見の分析: 荻原正雄 (富士市立中央病院). 1993; 5 (3): 35.
- 19-1 びまん性汎細気管支炎の早期発見と治療効果判定における  $^{133}\text{Xe}$ -換気シンチグラフィの有用性: 小松崎克己, 多田浩子, 望月太一, 清水歩, 川上憲司, 富永滋, 島田孝夫, 谷本普一. 1993; 5 (3): 43.
- 19-2 DPB, 糖尿病を基礎疾患として発症したアスペルギルス肺炎の1例: 宮下吉弘, 石井慎一, 菊地一郎,

竹田 宏, 児島 章, 濱田道康, 広瀬博章, 長澤 博, 吉村邦彦, 田井久量, 岡野 弘. 1993; 5 (3): 45.

- 19-3 喘息患児の呼吸器感染症合併時におけるインプロテレンール持続吸入療法の効果の検討: 内山宏幸, 飯倉洋治 (国立小児病院). 1993; 5 (3): 48.
- 19-4 腔内照射を併用した放射線療法が有効と思われた肺扁平上皮癌の1例: 村松弘康, 吉澤篤人, 岡崎 仁, 上村光弘, 田辺紀子, 放生雅章, 有岡宏子, 杉山温人, 堀内 正, 工藤宏一郎, 宇野 隆, 椎名丈城, 伊丹純 (国立病院医療センター). 1993; 5 (3): 49.
- 19-5 呼吸器疾患と胃疾患: 今泉忠芳, 荻原正雄 (富士市立中央病院). 1993; 5 (3): 50.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1993; vol. 5 no. 4

第20回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1993年9月27日(月) 18:00~20:00

会場 東京慈恵会医科大学 本館講堂

特別講演 術後アジュバントとしての養子免疫療法: 山口 豊 (千葉大学医学部). 1993; 5 (4): 52.

- 20-1 自然気胸とLDH, Amylase: 今泉忠芳, 荻原正雄 (富士市立中央病院). 1993; 5 (4): 56.
- 20-2 気管支胸膜癒を伴う胸膜型アスペルギルス症2例: 木村哲夫, 竹田 宏, 内山克己, 岡田明子, 長澤 博, 吉村邦彦, 田井久量, 岡野 弘. 1993; 5 (4): 58.
- 20-3 最近経験した皮膚筋炎および多発性筋炎における肺病変: 望月太一, 竹内悦子, 多田浩子, 清水 歩, 深草元紀, 小松崎克己, 谷本普一, 岡村哲夫, 峰咲幸哲, 井上奈津彦, 新村真人, 遠藤泰彦, 牛込新一郎, \*桜井公子 (\*東急病院). 1993; 5 (4): 60.
- 20-4 陳旧性膿胸に合併した胸壁悪性リンパ腫の1例: 朝倉潤, 半澤隆, 三好 勲, 北俊文, 吉見 優, 佐野功, 三森教雄, 桜井雅夫, 伊坪喜八郎, 高木敬三. 1993; 5 (4): 63.
- 20-5 Pancoast 腫瘍に対する高位後側方到達法による手術: 秋葉直志, 栗原英明, 大木隆生, 塩谷尚志, 三浦金次, 桜井健司. 1993; 5 (4): 65.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1994; vol. 6 no. 1

第21回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1994年12月13日(月) 18:00~20:00

会場 東京慈恵会医科大学2号館カンファランス AB

特別講演 気腫性嚢胞の臨床: 伴場次郎 (虎の門病院). 1994; 6 (1): 2.

- 21-1 Chlamydia pneumoniae肺炎の1例: 多田浩子, 竹内悦子, 清水 歩, 望月太一, 深草元紀, 小松崎克己, 佐藤哲夫, 岡村哲夫, 谷本普一. 1994; 6 (1): 5.
- 21-2 癌組織内に肉芽腫を混在した高分化型肺腺癌の1

例: 帆足茂久. 1994; 6 (1): 7.

- 21-3 慢性膿胸の1手術例: 秋葉直志, 栗原英明, 大木隆夫, 塩谷尚志, 三浦金次, 桜井健司. 1994; 6 (1): 9.
- 21-4 気管支カルチノイドの3症例: 豊泉高峰, 鈴木英之, 高久仁利, 土屋克彦, 北俊文, 桜井雅夫, 半澤隆, 伊坪喜八郎, 竹田 宏, 田井久量, 岡野 弘, 高木敬三. 1994; 6 (1): 10.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1994; vol. 6 no. 2

第22回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1994年2月28日(月) 18:00~20:00

会場 東京慈恵会医科大学本館講堂

特別講演 呼吸器診療における核医学検査の役割: 川上憲司. 1994; 6 (2): 14.

- 22-1 マルフアン症候群に自然気胸を合併した1例: 秋葉直志, 栗原英明, 三浦金次, 桜井健司, 有田二郎, 浜田朗生, 衛藤義勝, 前川喜平.
- 22-2 慢性呼吸不全の胃癌患者の1手術症例: 中村靖幸, 高橋宣胖, 棚山年和, 下野 聡, 高村誠二, 鳥海和弘, 谷藤泰正. 1994; 6 (1): 20.
- 22-3 特発性間質性肺炎に合併した重複肺癌7例の検討: 坪井永保, 古田島太, 成井浩司, 中谷龍王, 中森祥隆, 中田紘一郎, 松下 央 (虎の門病院). 1994; 6 (2): 22.
- 22-4 短期間に喘息大発作を繰返しプレドニン経口投与が必要かと示唆された4歳女児例: 樺山浩彦, 石津博子, 坂口直哉, 椿 俊和, 海老沢元宏, 秋本憲一, 飯倉洋治 (国立小児病院). 1994; 6 (2): 24.
- 22-5 喘息を伴わないABPAの1例: 新原礼子, 村松弘康, 羽山享宏, 上村光弘, 杉山温人, 豊田恵美子, 工藤宏一郎 (国立国際医療センター). 1994; 6 (2): 27.
- 22-6 肺結核にSchönlein-Henoch紫斑病を合併した1例: 宮下吉弘, 青木 薫, 帆足茂久, 玉利真由美, 長澤博, 田井久量, 岡野 弘, 金井達也, 北島武之, 相沢浩, 遠藤泰彦, 酒田昭彦, 高木敬三. 1994; 6 (2): 29.
- 故・福原武彦教授追悼の辞: 岡野 弘. 1994; 6 (2): 31.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1994; vol. 6 no. 3

第23回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1994年6月27日(土) 18:00~20:00

会場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室

特別講演 Secretory leukoprotease inhibitorとSurfactant protein A; 臨床応用の可能性について: 木田厚瑞 (東京都老人医療センター). 1994; 6 (3): 34.

- 23-1 偶然見つかった縦隔腫瘍の1例: 椿 俊和, 坂口直哉, 海老沢元宏, 秋本憲一, 恩田威文, 飯倉洋治 (国立小児病院). 1994; 6 (3): 42.

- 23-2 肺動脈塞栓術を施行した肺動脈奇形の1例：栗原英明，秋葉直志，山下誠，野田剛，尾高真，栗栖康寿. 1994; 6 (3): 43.
- 23-3 多量の胸水に心嚢水，腹水を伴いステロイドが奏効したMCTDの1例：深沢健至，神宮希代子，竹内悦子，多田浩子，深草元紀，古田島太，佐藤哲夫，岡村哲夫. 1994; 6 (3): 45.
- 23-4 Bronchial atresiaの1例：青木薫，牛尾龍朗，田井久量，岡野弘，桜井雅夫，半澤隆，伊坪喜八郎，高木敬三. 1994; 6 (3): 47.
- 23-5 麻酔科領域におけるSLPIの検討：岡本有美子，田中正史，瀧浪将典，高木康，天木嘉清，\*細田健治(\*帝人). 1994; 6 (3): 49.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1994; vol. 6 no. 4  
第24回慈大呼吸器疾患研究会

- 日時 1994年9月26日(月) 18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学2号館カンファランス AB
- 24-1 月経随伴性気胸の1例：野田剛，秋葉直志，栗原英明，尾高真，斎藤裕二，山下誠，磯西成治，佐藤哲夫，古田島太. 1994; 6 (4): 52.
- 24-2 <sup>81m</sup>Kr換気シンチグラフィによるMDI療法の評価：菊地一郎，島田孝夫，川上憲司，深草元紀，田井久量，岡野弘. 1994; 6 (4): 54.
- 24-3 重症気管支喘息児のDSCG + Salbutamol療法の気道過敏症に対する検討：椿俊和，坂口直哉，樺山浩彦，海老澤元宏，勝沼俊雄，秋本憲一，恩田威文，飯倉洋治(国立小児病院). 1994; 6 (4): 56.
- 24-4 肺切除症例の術後肺機能予測について：北俊文，鈴木英之，高久仁利，佐藤修二，三好勲，増測正隆，桜井雅夫，半澤隆，伊坪喜八郎. 1994; 6 (4): 58.
- 24-5 結核性胸膜炎の経過中にみられたRound Atelectasis 5例の検討：帆足茂久，田井久量，長澤博，青木薫，石井慎一，岡野弘. 1994; 6 (4): 61.
- 24-6 高齢者の市中肺炎に関する検討：岸一馬，長濱博行，川畑雅照，坪井永保，成井浩司，中谷龍王，中田紘一郎(虎の門病院). 1994; 6 (4): 63.
- 24-7 治療経過中に気管支内穿孔を来した縦隔リンパ節結核の1例：清水歩，深沢憲至，神宮希代子，望月太一，深草元紀，古田島太，佐藤哲夫，岡村哲夫，\*多田浩子，\*鈴木正章(\*大宮総合病院). 1994; 6 (4): 65.
- 24-8 肺の先天性腺腫様嚢胞奇形の4症例：千葉諭，羽野寛，\*徳田忠昭(\*富士市立中央病院)，牛込新一郎，黒部仁，金井正樹，山崎洋次. 1994; 6 (4): 67.
- 24-9 Myelitisを合併した肺小細胞癌の1例：秋山純一，村松弘康，吉澤篤人，放生雅章，越野健，小林信之，工藤宏一郎，可部順三郎(国立国際医療センター).

- 24-10 腫瘍における<sup>99m</sup>Tc-MIBIの早期像について：成尾孝一郎，三枝裕和，内山真幸，守谷悦男，森豊，川上憲司. 1994; 6 (4): 69.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1995; vol. 7 no. 1  
第25回慈大呼吸器疾患研究会

- 日時 1994年12月19日(月) 18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室  
特別講演 Neurogenic inflammation of the airway: 滝島任.
- 25-1 小児の気管支喘息における皮膚寒冷刺激の有効性に関する検討：勝沼俊雄，飯倉洋治，小島信行，三島健(国立小児病院). 1995; 7 (1): 2.
- 25-2 血清CA19-9が高値を示した肺分画症の1例：石井慎一，秋山一夫，青木薫，田井久量，岡野弘，三好勲，桜井雅夫，半澤隆，伊坪喜八郎，遠藤泰彦，高木敬三. 1995; 7 (1): 4.
- 25-3 肺結核におけるHelicobacter pylori IgG抗体：今泉忠芳(富士市立中央病院). 1995; 7 (1): 6.
- 25-4 維持透析患者に発症した肺癌の1例：栗原英明，秋葉直志，尾高真，野田剛，山下誠，斎藤裕二，佐藤成明，川本進也，久保仁，川口良人. 1995; 7 (1): 8.
- 25-5 Tracheal carcinomaの1例：久保雅子，薫康夫，村松弘康，吉澤篤人，放生雅章，越野健，小林国彦，小林信之，工藤宏一郎，可部順三郎(国立国際医療センター).

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1995; vol. 7 no. 2  
第26回慈大呼吸器疾患研究会

- 日時 1995年3月20日(月) 18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室
- 26-1 血清，BAL中CEA高値を呈した肺胞蛋白症の1例：竹内悦子，深草元紀，望月太一，神宮希代子，清水歩，古田島太，佐藤哲夫. 1995; 7 (2): 12.
- 26-2 右肺優位の間質性陰影を呈したシェーグレン症候群の1例：萩原千恵子，田井久量，青木薫，岡島直樹，吉村邦彦，岡野弘，高久仁利，三好勲，桜井雅夫，半澤隆，伊坪喜八郎，高木敬三，徳田忠昭. 1995; 7 (2): 15.
- 26-3 右中葉の完全閉塞を認めたホジキン氏病の1例；トキソプラズマ感染の合併例：内田美栄，村松弘康，吉澤篤人，放生雅章，越野健，小林信之，工藤宏一郎，可部順三郎，伊丹純(国立国際医療センター)，亀井喜世子(帝京大学)
- 26-4 経過中MRSAが検出され，剖検時に肺炎を示した例の検討：千葉諭，羽野寛，牛込新一郎，徳田忠昭. 1995; 7 (2): 18.
- 26-5 同時に二つの病変が存在した肺カルチノイドの



- 1例：山下 誠，秋葉直志，野田 剛，栗原英明，古田島太，深草元紀，佐藤哲夫，伊坪喜八郎. 1995; 7 (2): 21.
- 26-6 肺の粘表皮癌の1例：小野雅史，羽生信義，成瀬勝，太平洋一，水崎 肇，恩田啓二，鈴木 裕，中里雄一，中山一彦，大谷昌道，宮川 朗，徳田忠昭（富士市立中央病院）. 1995; 7 (2): 23.
- 26-7 肺アスペルギルス症術後気管支瘻に対し，瘻孔閉鎖術および大網充填術を施行した1例：井上一成，黒田 徹，忠岡信彦，石川隆志，一志公夫，高橋宣胖. 1995; 7 (2): 25.
- 26-8 難治性気管支瘻に対する大網充填術後の呼吸管理の問題点：田中正史，谷藤泰正. 1995; 7 (2): 26.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1995；vol. 7 no. 3  
第27回慈大呼吸器疾患研究会

- 日 時 1995年6月26日（月）18:00～20:00  
会 場 東京慈恵会医科大学高木会館7階K会議室  
特別講演 肺癌に対する治療戦略；呉屋 朝幸（杏林大学医学部）. 1995; 7 (3):30.
- 27-1 慢性好酸球肺炎の1例：萩原千恵子，秋山一夫，石井慎一，青木 薫，玉利真由美，菊地一郎，竹田 宏，田井久量，岡野 弘，伊東慶悟，野村浩一，高木敬三. 1995; 7 (3): 35.
- 27-2 O<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>が逆転した慢性呼吸不全麻酔管理3症例：小野澤裕史，大竹知子，加賀谷 慎（富士市立中央病院），生田目英樹，田中正史，谷藤泰正. 1995; 7 (3): 38.
- 27-3 喘息重積発作に吸入麻酔薬（イソフルラン）を使用した2例：森山道彦，三尾 寧，堀口 徹，佐竹 司，中村 眞，橋本雅子. 1995; 7 (3): 40.
- 27-4 サイクロスポリン投与によりプレドニンの減量が可能であったHESの1例：秋山佳子，古田島太，深草元紀，清水 歩，神宮希代子，小野寺玲利，木村 啓，南谷めぐみ，堀越一昭，佐藤哲夫，遠藤泰彦. 1995; 7 (3): 42.
- 27-5 肋膜線維腫の1例：小野雅史，羽生信義，成瀬 勝，太平洋一，鳥海弥寿雄，恩田啓二，鈴木 裕，中里雄一，中山一彦，大谷昌道，宮川 朗，徳田忠昭（富士市立中央病院），久保宏隆. 1995; 7 (3): 43.
- 27-6 肺腺癌にサルコイド結節を合併した1症例：吉永和史，一志公夫，高橋宣胖，宮沢善夫. 1995; 7 (3): 45.
- 27-7 後縦隔腫瘍に対する胸腔鏡ガイド下手術の1例：山下 誠，秋葉直志，野田 剛，高木正道，栗原英明，古田島太，深草元紀，佐藤哲夫，伊坪喜八郎. 1995; 7 (3): 47.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1995；vol. 7 no. 4  
第28回慈大呼吸器疾患研究会

- 日 時 1995年9月25日（月）18:00～20:00  
会 場 東京慈恵会医科大学カンファランス AB
- 28-1 両側乳ビ胸水にて発症したリンパ管筋腫症の1例：秋山佳子，清水 歩，木村 啓，堀越一昭，南谷めぐみ，小野寺玲利，村松弘康，多田浩子，内田和宏，深草元紀，古田島太，田辺 修，羽野 寛，佐藤哲夫. 1995; 7 (4): 52.
- 28-2 鎖骨切離により切除しえた左頸部局所再発肺癌の1例：秋葉直志，野田 剛，高木正道，尾高 真，塩谷尚志，栗原英明，曾雌 茂，佐藤哲夫，薄井紀子，伊坪喜八郎. 1995; 7 (4): 55.
- 28-3 当施設における粟粒結核症の臨床的検討：神宮希代子，吉澤篤人，久保雅子，党 康夫，川名明彦，越野健，豊田恵美子，小林信之，工藤宏一朗，可部順三郎（国立国際医療センター）. 1995; 7 (4): 57.
- 28-4 管支カルチノイドの1例：玉利真由美，萩原千恵子，宮下吉弘，秋山一夫，石井慎一，青木 薫，菊地一郎，竹田 宏，田井久量，岡野 弘，佐藤修二，桜井雅夫，伊坪喜八郎，伊東慶悟，野村浩一，高木敬三. 1995; 7 (4): 60.
- 28-5 気胸を合併した重症気管支喘息児の1例；外科的治療の適応と限界：坂口直哉，勝沼俊雄，松本健治，河原秀俊，木村光一，松原和樹，Capulong MC，飯倉洋治，新井真理，宇津木忠仁，本名敏郎（国立小児病院）. 1995; 7 (4): 63.
- 28-6 乳ビ胸水の貯留をともなったマクログロブリン血症の1例：瀬島克之，池田真仁，古谷伸之，西脇嘉一，片山俊夫，矢野平一，斎藤 篤，渡邊禮次郎，千葉 諭. 1995; 7 (4): 66.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1996；vol. 8 no. 1  
第29回慈大呼吸器疾患研究会

- 日 時 1995年12月4日（月）18:00～20:00  
会 場 東京慈恵会医科大学カンファランス AB  
特別講演 気管支肺胞洗浄液の解析：大塚 盛男（筑波大学臨床医学系）. 1996; 8 (1): 2.
- 29-1 腎細胞癌術後肺転移と原発性肺癌を合併した1例：井上一成，一志公夫，吉永和史，水谷 央，黒田 徹，高橋宣胖，宮沢善夫. 1996; 8 (1): 6.
- 29-2 Lateral thoracotomyによる肺葉切除およびpericardial fat padを用いた気管支断端被覆：秋葉直志，野田 剛，高木正道，塩谷尚志，栗原英明，伊坪喜八郎. 1996; 8 (1): 9.
- 29-3 典型的な剥離性間質性肺炎の1例：清水久裕，久保雅子，神宮希代子，党 康夫，吉澤篤人，川名明彦，越

野 健, 豊田恵美子, 小林信之, 工藤宏一郎, 可部順三郎 (国立国際医療センター). 1996; 8 (1): 11.

29-4 胸部 CT にて瀰漫性の陰影を呈した Lymphoma の 1 例: 山内弥生, 神宮希代子, 久保雅子, 党康夫, 吉澤篤人, 川名明彦, 越野 健, 豊田恵美子, 工藤宏一郎, 可部順三郎 (国立国際医療センター). 1996; 8 (1): 13.

### 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1996; vol. 8 no. 2

#### 第 30 回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1996年3月11日(月) 18:00~20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木会館7階 K 会議室

30-1 I 期非小細胞肺癌肺切除例の臨床的検討: 鈴木英之, 朝倉潤, 大森秀一郎, 平野純, 三好勲, 佐藤修二, 増渕正隆, 北俊文, 桜井雅夫, 半沢隆, 伊坪喜八郎. 1996; 8 (2): 18.

30-2 小児の胸腔鏡下肺部分切除の 1 例: 野田剛, 山崎洋次, 秋葉直志, 吉田二教, 吉澤譲治, 金井正樹, 伊坪喜八郎. 1996; 8 (2): 20.

30-3 膿胸により発見された食道癌に伴う気管支食道瘻の 1 例: 筆宝義隆, 神宮希代子, 吉澤篤人, 久保雅子, 党康夫, 川名明彦, 越野 健, 豊田恵美子, 小林信之, 工藤宏一郎, 可部順三郎 (国立国際医療センター). 1996; 8 (2): 21.

30-4 臨床症状の乏しかった粟状陰影を呈した肺結核の 1 例: 池田真仁, 瀬昌克之, 矢野平一, 斎藤篤, 渡邊禮次郎, 山口裕.

30-5 びまん性粒状影を呈した劇症型マイコプラズマ肺炎の 1 例: 神宮希代子, 吉澤篤人, 久保雅子, 党康夫, 川名明彦, 越野 健; 豊田恵美子, 小林信之, 工藤宏一郎 (国立国際医療センター). 1996; 8 (2): 22.

30-6 慢性腎不全患者の肺炎に関する検討: 吉田正樹, 吉川晃司, 前澤浩美, 坂本光男, 中澤靖, 進藤奈邦子, 猿田克年, 柴孝也, 酒井紀. 1996; 8 (2): 23.

30-7 びまん性汎細気管支炎症例における CC10 遺伝子の構造解析: 田辺修, 清水歩, 安斎千恵子, 青木薫, 衛藤義勝, 吉村邦彦. 1996; 8 (2): 25.

### 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1996; vol. 8 no. 3

#### 第 31 回慈大呼吸器疾患研究会記録

日時 1996年6月24日(月) 18:00~20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木会館7階 K 会議室

特別講演 肺癌における超音波断層法による診断・病期の評価: 檀原高 (順天堂大学医学部). 1996; 8 (3): 30.

31-1 Hyperthyroidism を合併し多発性肺転移を認めた絨毛癌の 1 例: 村松弘康, 秋山佳子, 小野寺玲利, 木村啓, 南谷めぐみ, 多田浩子, 清水歩, 内田和弘, 古田島太, 田辺修, 佐藤哲夫, 望月正武. 1996; 8 (3): 35.

31-2 巨大な腫瘤影を呈し, 穿刺排液を施行した胸腺嚢腫と思われた 1 例: 宮下吉弘, 田井久量, 安斎千恵子, 秋山一夫, 石井慎一, 青木薫, 玉利真由美, 菊地一郎, 竹田宏, 岡島直樹, 岡野弘, 辻本文雄. 1996; 8 (3): 36.

31-3 乳癌肺転移に対する手術症例についての検討: 塩谷尚志, 秋葉直志, 栗原英明, 尾高真, 内田賢, 山崎洋次. 1996; 8 (3): 39.

31-4 AIDS 患者に対する気管支鏡検査の経験: \*吉川晃司, \*相楽裕子, \*国頭礼夫, \*永友章, \*岡本浩明, \*渡辺古志郎 (\*横浜市立市民病院), 猿田克年, 進藤奈邦子, 坂本光男, 中澤靖, 前澤浩美, 柴孝也, 酒井紀. 1996; 8 (3): 41.

31-5 PET が診断上有用であったアスペルギルス膿胸の 1 例: 佐藤輝彦, 鈴木直仁, 川田博, 中山雅晴, 杣知行, 久保雅子, 新原礼子, 竹田雄一郎, 小林国彦, 鈴木恒雄, 工藤宏一郎, 可部順三郎 (国立国際医療センター). 1996; 8 (3): 44.

31-6 マクロライド薬は血清コルチコイドレベルを上昇させる: 堀誠治, 佐藤淳子, 川村将弘. 1996; 8 (3): 46.

31-7 気道上皮細胞の遺伝子発現に対する nicotine の作用; in vitro における mRNA differential display 法による解析: 安斎千恵子, 田辺修, 清水歩, 青木薫, 内田和宏, 衛藤義勝, 吉村邦彦. 1996; 8 (3): 48.

### 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1996; vol. 8 no. 4

#### 第 32 回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1996年10月7日(月) 18:00~20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木 2 号館 南講堂

32-1 テオフィリン誘発振戦・痙攣の基礎的研究: 佐藤淳子, 堀誠治, 川上将弘. 1996; 8 (4): 54.

32-2 肺胞上皮細胞における lactate dehydrogenase A および B 遺伝子の differential expression とその制御: 清水歩, 田辺修, 青木薫, 内田和宏, 安斎千恵子, 衛藤義勝, 吉村邦彦. 1996; 8 (4): 56.

32-3 無治療で軽快した acute eosinophilic pneumonia の 1 例: 古田島太, 多田浩子, 諸川納早, 村松弘康, 内田和宏, 佐藤哲夫, 羽野寛. 1996; 8 (4): 57.

32-4 肺原発悪性リンパ腫の 2 例: 帆足茂久, 宮下吉弘, 秋山一夫, 石井慎一, 青木薫, 玉利真由美, 菊地一郎, 岡島直樹, 田井久量, 岡野弘, 野村浩一, 高木敬三. 1996; 8 (4): 59.

32-5 経気管支的肺生検にて確認した原発性肺クリプトコッカス症の 1 例: 江島正顕, 四方千裕, 土屋昌史, 望月正武. 1996; 8 (4): 61.

32-6 縦隔原発の Malignant Peripheral Nerve Sheath Tumor の 1 手術例: 藤江由香, 尾高真, 朝倉潤, 塩谷尚志, 秋葉直志, 山崎洋次. 1996; 8 (4): 63.

32-7 胸壁合併切除を行なった肺腺癌の2手術例：平野純、鈴木英之、朝倉潤、大森秀一郎、三好勲、佐藤修二、増淵正隆、北俊文、穴澤貞夫、山崎洋次。1996; 8 (4): 64.

寄稿 気管支喘息；新しく提唱された定義と気道炎症の免疫学的メカニズム：山口浩史。1996; 8 (4): 67.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1997；vol. 9 no. 1

追悼 故・川上憲司教授を偲びて：岡野弘。1997; 9 (1): 1.

入院経過報告：久保宏隆。1997; 9 (1): 2.

川上憲司先生を偲ぶ：佐藤哲夫。1997; 9 (1): 3.

第33回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1996年12月16日(月) 18:00～20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木2号館 西講堂

33-1 術前診断に難渋した肺大細胞癌の1例：武田有啓、永田徹、渡辺正光、遠山洋一、堤純、宮川朗、久保宏隆、青木照明。

33-2 再発を繰り返したAskin腫瘍の1例：山崎哲資、尾高真、黒部仁、塩谷尚志、佐藤修二、吉田二教、秋葉直志、水野良児、山崎洋次。1997; 9 (1): 4.

33-3 集学的治療が奏功した肺扁平上皮癌の1例：佐藤修二、朝倉潤、平野純、鈴木英之、大森秀一郎、高久仁利、三好勲、増淵正隆、山崎洋次。1997; 9 (1): 5.

33-4 肺原発悪性リンパ腫の1例：諸川納早、清水歩、内田和宏、古田島太、南谷めぐみ、竹内悦子、古田島理佐、村松弘泰、多田浩子、田辺修、吉村邦彦、羽野寛、佐藤哲夫。1997; 9 (1): 6.

33-5 肺癌を合併した肺線維症の臨床的検討：秋山佳子、竹田雄一郎、杣知行、中山雅晴、久保雅子、鈴木直仁、鈴木恒雄、工藤宏一郎(国立国際医療センター)。

33-6 肺胞上皮細胞を標的とした遺伝子治療の基礎的研究：青木薫、帆足茂久、内田和宏、清水歩、田辺修、安斎千恵子、衛藤義勝、吉村邦彦。1997; 9 (1): 9.

33-7 カリニ肺炎による呼吸不全で発症したAIDSの1例：宮下吉弘、中森祥隆(三宿病院)。1997; 9 (1): 10.

33-8 スエヒロタケによるABPMの2例：長瀬洋之、加藤温、山科俊平、原田紀宏、神宮希代子、新原礼子、吉澤篤人、川名明彦、放生雅章、高原誠、豊田恵美、小林信之、工藤宏一郎(国立国際医療センター)。

第34回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1997年3月17日(月) 18:00～20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木2号館 南講堂

34-1 かぜ症候群と2-5AS活性：今泉忠芳(ランドマーククリニック)。1997; 9 (1): 11.

34-2 温泉・海釣り後に発症したレジオネラ肺炎の1例：庄田慎一、清田康、中森祥隆(三宿病院)。1997; 9 (1): 14.

34-3 上葉限局型肺線維症と考えられた3例：神宮希代子、川名明彦、吉澤篤人、長瀬洋之、秋山佳子、新原礼子、放生雅章、豊田恵美子、小林信幸、工藤宏一郎、稲垣敬三、新野史(国立国際医療センター)。

34-4 肺胞洗浄により回収された肺内細胞の麻疹ウイルス感染をRT-PCR法にて証明し得た麻疹肺炎の1例：清水歩、田辺修、内田和宏、青木薫、安斎千恵子、帆足茂久、諸川納早、深沢健至、古田島理佐、竹内悦子、多田浩子、村松弘泰、古田島太、島田敏樹、吉田正樹、羽野寛、佐藤哲夫、衛藤義勝、吉村邦彦。1997; 9 (2): 40.

34-5 麻酔導入直後に発症し不幸な転帰をとった肺動脈血栓症の1例：三尾寧、佐々木信嘉、加賀谷慎、谷藤泰正、佐藤哲夫、永淵龍彦、鈴木正章、河上牧夫。1997; 9 (1): 15.

34-6 前方アプローチによるPancoast腫瘍の1手術例：高久仁利、豊泉高峰、朝倉潤、尾高真、塩谷尚志、山下晃徳、佐藤修二、畝村泰樹、秋葉直志、山崎洋次。1997; 9 (1): 17.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1997；vol. 9 no. 2

第34回研究会岡野弘教授の特別講演から：飯倉洋治(昭和大学)。1997; 9 (2): 23.

第34回研究会特別講演 特発性間質性肺炎の指標を求めて：岡野弘。1997; 9 (2): 24.

第35回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1997年6月23日(月) 18:00～20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木会館7階K会議室

35-1 小児気管支腺腫の1例：金井正樹、本名敏郎、宮内潤(国立小児病院)、山崎洋次。1997; 9 (2): 31.

35-2 肺癌転移による小腸穿孔性腹膜炎の1例：朝倉潤、佐藤修二、鈴木英之、増淵正隆、秋葉直志、穴澤貞夫、山崎洋次。1997; 9 (2): 32.

35-3 胃潰瘍と腹部X線陳旧性肺結核陰影：今泉忠芳(ランドマーク・クリニック)。1997; 9 (2): 33.

35-4 先天性両側精管欠損症(CBAVD)患者におけるCFTR遺伝子の変異解析：吉村邦彦、\*岡田弘(\*神戸大学医学部)、飯塚佐代子、安斎千恵子、清水歩、田辺修、帆足茂久、内田和宏、諸川納早、多田浩子、青木薫、衛藤義勝。1997; 9 (2): 35.

35-5 診断に苦慮した間質性肺炎の1例：深沢健至、望月太一、古田島太、多田浩子、佐藤哲夫、河上牧夫。

35-6 当院で経験した肺胞蛋白症2例の検討：佐藤輝彦、秋山佳子、竹田雄一郎、川田博、上村光弘、杣知行、鈴木直仁、鈴木恒雄、工藤宏一郎、新野史(国立国際医療センター)。

35-7 Theophyllineによる血中ステロイド上昇作用につ

いて：佐藤淳子，堀 誠治，川村将弘．1997；9 (2)：37.

- 35-8 肺 *Mycobacterium avium* complex 症における血清 carbohydrate antigen 19-9 値の検討：秋山一夫，田井久量，帆足茂久，牛尾龍朗，宮下吉弘，石井慎一，竹田宏，岡島直樹．1997；9 (2)：39.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1997；vol. 9 no. 3/4  
第36回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1997年9月29日(月) 18:00～20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木2号館 南講堂

特別講演 呼吸困難発生メカニズムと対策：本間生夫(昭和大学 医学部)．1997；9 (3/4)：46.

- 36-1 ProGRP 産生肺小細胞癌組織における proGRP 遺伝子の発現と mRNA の alternative splicing に関する解析：内田和宏，諸川納早，清水 歩，田辺 修，安斎千恵子，帆足茂久，多田浩子，佐藤哲夫，衛藤義勝，吉村邦彦．1997；9 (3/4)：47.

- 36-2 気管支喘息と IgE：今泉忠芳(ランドマーク・クリニック)．1997；9 (3/4)：48.

- 36-3 家族集積を認めた AVM の1例：秋山佳子，竹田雄一郎，佐藤輝彦，柚 知行，上村光弘，鈴木直仁，川田博，鈴木恒雄，工藤宏一郎(国立国際医療センター)．

- 36-4 間質性肺炎の経過観察中に潰瘍性大腸炎を続発した肺高血圧症の1例：山内康宏，吉澤篤人，原田紀宏，降旗兼行，星 作男，長瀬洋之，川名明彦，放生雅章，豊田恵美子，小林信之，工藤宏一郎(国立国際医療センター)．

第37回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1997年12月15日(月) 18:00～20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木2号館南講堂

特別講演 肺癌の病理；とくに最近の知見について：児玉哲郎(国立がんセンター中央病院)．1997；9 (3/4)：51.

- 37-1 肺小細胞肺癌細胞における proGRP 遺伝子の発現およびその調節と遺伝子治療への応用：諸川納早，内田和宏，安斎千恵子，帆足茂久，清水 歩，多田浩子，田辺 修，衛藤義勝，吉村邦彦．1997；9 (3/4)：55.

- 37-2 気管支喘息と Creatin phosphokinase (CPK)：今泉忠芳(ランドマーク・クリニック)．1997；9 (3/4)：57.

- 37-3 慢性好酸球性肺炎の1例：庄田慎一，清田 康，中森祥隆(三宿病院)．1997；9 (3/4)：60.

- 37-4 両側に認められた好酸球性胸水の1例：降旗兼行，吉澤篤人，山内康宏，星 作男，原田紀宏，長瀬洋之，川名明彦，豊田恵美子，小林信之，工藤宏一郎，新野 史(国立国際医療センター)．

- 37-5 肺癌として紹介された肺真菌症の1例：関谷 剛，竹田雄一郎，鈴木直人，佐藤輝彦，八橋 透，秋山佳子，柚 知行，上村光弘，川田 博，鈴木恒雄，工藤宏一郎，

新野 史(国立国際医療センター)．

- 37-6 非侵襲的陽圧換気(NIPPV)が奏功した脊椎後側彎症に伴う慢性II型呼吸不全の1例：中川清隆，深沢健至，望月太一，古田島 太，佐藤哲夫．1998；10 (1)：9.

- 37-7 急性呼吸不全を呈しステロイド投与が奏功したマイコプラズマ急性細気管支炎の1例：木村 啓，平野景太，山口浩史，内田和宏，江島正顕，徳田忠昭(富士市立中央病院)．

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1998；vol. 10 no. 1

第38回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1998年4月20日(月) 18:00～20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木2号館 南講堂

- 38-1 肺胞上皮細胞を標的とした特異的遺伝子導入に関する検討：帆足茂久，青木 薫，清水 歩，田辺 修，安斎千恵子，内田和宏，諸川納早，多田浩子，衛藤義勝，吉村邦彦．1998；10 (1)：2.

- 38-2 肺 MAC 症の治療中に BOOP を合併した1例：長濱 玲，川名明彦，白石 眞，降旗兼行，山内康宏，原田紀宏，星 作男，長瀬洋之，吉澤篤人，高原 誠，豊田恵美子，小林信之，工藤宏一郎，新野 史(国立国際医療センター)．

- 38-3 血清 NSE 高値を示し胸部画像上，多発結節影を呈した悪性黒色腫の1例：石井慎一，田井久量，帆足茂久，木村哲夫，牛尾龍朗，宮下吉弘，秋山一夫，岡田明子，竹田 宏，岡島直樹，伊東慶悟，福永真治．1998；10 (1)：3.

- 38-4 重症気管支喘息における 5-HIAA の上昇：今泉忠芳(ランドマーク・クリニック)．1998；10 (1)：5.

- 38-5 乳癌術後18年を経て SVC 症候群，胸膜播種性転移を呈した1例：小林 功，尾高 真，増淵正隆，内田 賢，穴澤貞夫，山崎洋次．1998；10 (3)：40.

- 38-6 治療に難渋した月経随伴性気胸の1例：大町貴弘，尾高 真，増淵正隆，秋葉直志，穴澤貞夫，山崎洋次．1998；10 (1)：8.

- 寄稿 胸腔鏡検査が確定診断に有用であった胸水および上大静脈症候群の1例：小林 功，尾高 真，増淵正隆，内田 賢，穴澤貞夫，山崎洋次．1998；10 (1)：7.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1998；vol. 10 no. 2

第39回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1998年6月29日(月) 18:00～20:00

会場 東京慈恵会医科大学 高木2号館 南講堂

- 39-1 活動性肺結核における Interleukin-6 (IL-6) の上昇：今泉忠芳(ランドマーク・クリニック)．1998；10 (2)：14.

- 39-2 日本人の嚢胞性線維症 (cystic fibrosis) 患児における CFTR 遺伝子変異 H1085R の検出: 吉村邦彦, \*若園吉裕 (\*京都桂病院), 飯塚佐代子, 安斎千恵子, 多田浩子, 田辺 修, 清水 歩, 諸川納早, 帆足茂久, 衛藤義勝. 1998; 10 (2): 17.
- 39-3 喫煙開始2ヵ月後に発症した急性好酸球性肺炎の1例: 中里哲郎, 神宮希代子, 古田島 太, 吉川晃司, 井上 寧, 秋山佳子, 木村 啓, 栗原悦子, 村松弘康, 望月太一, 二村 聡, 河上牧夫, 佐藤哲夫. 1998; 10 (3): 37.
- 39-4 喘息様症状で発症した MALT (mucosa-associated lymphoid tissue) lymphoma の1症例: 土屋昌史, 河野毅, 伊達太郎, 四方千裕, 古田島理佐, 江島正顕, 児島 章, 多田紀夫, 遠藤泰彦, 酒田昭彦, 佐藤哲夫. 1998; 10 (2): 19.
- 39-5 再発をきたした原発性肺クリプトкокカス症の1例: 中森祥隆, 庄田慎一, 清田 康, 千先康二 (国家公務員共済組合連合会 三宿病院), 松隈 晋 (自衛隊中央病院). 1998; 10 (2): 21.
- 39-6 長期観察の後, 手術適応となった Solitary fibrous tumor of the pleura の1例: 山形哲也, 猪又雄一, 黒田徹, 下野 聡, 柏木 明, 横山正人, 高橋宣胖, 遠藤泰彦.
- 39-7 上大静脈症候群で発症し, 胸腺全摘および上大静脈切除置換を行なった胸腺癌の1例: 山下 誠, 佐藤修二, 秋葉直志, 中野雅道, 儀武路雄, 河上牧夫, 山崎洋次. 1998; 10 (3): 39.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1998; vol. 10 no. 3

## 第40回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1998年9月21日(月)18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学2階講堂

- 40-1 慢性閉塞性肺疾患 COPD における胃潰瘍既往歴: 今泉忠芳 (ランドマーク・クリニック). 1998; 10 (3): 26.
- 40-2 びまん性小粒状陰影を呈した重症 Mycoplasma 肺炎の1例: 香坂 俊, 吉澤篤人, 原田紀宏, 上村光弘, 放生雅章, 朱 殷浩, 工藤宏一郎 (国立国際医療センター).
- 40-3 邦人に発症した肺の coccidioidomycosis : 山岸二郎, 寺尾江里 (JR 東京総合病院), 大杉文雄, 田中 宏, 多田信平, 福田国彦. 1998; 10 (3): 29.
- 40-4 肺塞栓を呈した抗リン脂質抗体症候群の1例: 庄田慎一, 清田 康, 中森祥隆 (国家公務員共済組合連合会 三宿病院).
- 40-5 肺胞上皮細胞における lactate dehydrogenase A 遺伝子の発現とその調節機構: 清水 歩, 田辺 修, 帆足茂

- 久, 安斎千恵子, 内田和宏, 多田浩子, 諸川納早, 児島 章, 衛藤義勝, 吉村邦彦. 1999; 11 (1): 9.
- 40-6 気管・気管支の悪性狭窄に対する金属ステント留置: 氏田万寿夫, 我那覇文清, 尾高 真, 増淵正隆. 1998; 10 (3): 31.
- 40-7 右上葉入口部の生検にて扁平上皮癌と肺結核の合併と診断した39歳男性の1例: 木村哲夫, 帆足茂久, 牛尾龍朗, 多田浩子, 秋山一夫, 岡田明子, 石井慎一, 竹田 宏, 田井久量, 福永眞治, \*内山克己 (\*町田市民病院). 1998; 10 (3): 33.
- 40-8 転移性肺癌との鑑別を要した肺硬化性血管腫の1例: 清水久裕, 山口浩史, 内田和宏, 江島正顕, 徳田忠昭 (富士市立中央病院). 1998; 10 (3): 35.

## 『慈大呼吸器疾患研究会誌』1998; vol. 10 no. 4

## 第41回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1999年1月18日(月)18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学 カンファレンスルーム AB

- 41-1 気管の粘表皮癌の1例: 氏田万寿夫, 福田国彦, 多田信平, \*井田正博, \*高橋 学 (\*都立荏原病院). 1998; 10 (4): 46.
- 41-2 多発性結節影を認めた転移性子官筋腫の1例: 降旗兼行, 竹田雄一郎, 山内康宏, 川名明彦, 工藤宏一郎, 奥脇英人, 森田敬知, 稲垣敬三, 森田豊彦 (国立国際医療センター).
- 41-3 著明なリンパ行性進展を呈した腎盂癌肺転移の1例: 清水久裕, 山口浩史, 内田和宏, 江島正顕, 徳田忠昭 (富士市立中央病院). 1998; 10 (4): 47.
- 41-4 陳旧性肺結核の肺結核再発とインフルエンザ: 今泉忠芳 (ランドマーク・クリニック). 1998; 10 (4): 48.
- 41-5 胸骨切除, Gore-Tex 再建を行なった胸腺癌術後胸壁腫瘍の1例: 山下 誠, 山崎哲資, 佐藤修二, 秋葉直志, 山崎洋次, 河上牧夫.
- 41-6 アデノウイルススペクターを用いたヒト・カルボキシルエステラーゼ遺伝子導入による肺癌細胞の CPT-11 耐性克服: 児島 章, 諸川納早, 帆足茂久, 内田和宏, 田辺 修, 清水 歩, 安斎千恵子, 多田浩子, 衛藤義勝, 吉村邦彦. 1998; 10 (4): 51.
- 41-7 防虫スプレー吸入により急性肺障害を来した1例: 帆足茂久, 木村哲夫, 牛尾龍朗, 多田浩子, 秋山一夫, 岡田明子, 石井慎一, 竹田 宏, 田井久量. 1998; 10 (4): 52.
- 41-8 胸腔鏡下肺生検 (VATS) が有用であった過敏性肺炎の1例: 斎藤桂介, 井上 寧, 望月太一, 古田島 太, 佐藤哲夫, 佐藤修二, 二村 聡, 羽野 寛. 1998; 10 (4): 53.
- 41-9 夏型過敏性肺臓炎の1例: 庄田慎一, 清田 康, 中

森祥隆（三宿病院），佐藤仁哉，酒井 優（自衛隊中央病院）。

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1999；vol. 11 no. 1

#### 第 42 回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1999年4月5日（月）18：00～20：00

会場 東京慈恵会医科大学 高木 2 号館 南講堂

42-1 検診で発見された若年者女性の肺腺癌の 1 手術例：川野 勸，山下 誠，佐藤修二，秋葉直志，山崎洋次，佐藤哲夫，原田 徹，河上牧夫。1999；11（1）：2。

42-2 胸壁再建術を施行した乳癌術後局所再発の 1 例：丸島秀樹，内田 賢，大森秀一郎，高木正道，山寺 仁，増淵正隆，穴澤貞夫，山崎洋次，松井瑞子，福本恵三。1999；11（1）：3。

42-3 14 / 16 番染色体転座を伴った肺癌を含む三重癌の 1 例：土屋昌史，四方千裕，中里哲郎，中田秀二，児島 章，遠藤泰彦，佐藤哲夫。1999；11（1）：4。

42-4 上大静脈症候群にステント挿入術が有効であった 1 例：丸山之雄，秋山佳子，栗原悦子，田辺 修，中川昌之，山田哲久，最上拓児，佐藤哲夫。

42-5 血痰を主訴とし多発結節および空洞陰影を認めた 1 症例：山内康宏，古澤篤人，降旗兼行，放生雅章，竹田雄一朗，鈴木恒雄，工藤宏一郎，奥脇英人，森田敬知，稲垣敬三，新野 史（国立国際医療センター）。

42-6 肺結核における Gastrin の上昇：今泉忠芳（ランドマーク・クリニック）。1999；11（1）：5。

42-7 わが国で新しく見つかった CFTR 遺伝子変異 M152R および 1540del110 の複合ヘテロ接合体を呈した cystic fibrosis の 1 小児例：勝部敦史，飯塚佐代子，\*棚野晃秀，\*連 利博（\*兵庫県立こども病院），諸川納早，安斎千恵子，清水 歩，田辺 修，内田和宏，児島 章，多田浩子，帆足茂久，衛藤義勝，吉村邦彦。1999；11（2）：23。

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1999；vol. 11 no. 2

#### 第 43 回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1999年6月28日（月）18：00～20：00

会場 東京慈恵会医科大学 高木 2 号館南講堂

43-1 肺線維症における Epstein-Barr ウィルス抗体の上昇：今泉忠芳（ランドマーク・クリニック）。1999；11（2）：16。

43-2 肺の *Mycobacterium kansasii* 感染症の画像所見について：氏田万寿夫，三角茂樹，福田国彦，多田信平，田井久量，竹田 宏，石井慎一。1999；11（2）：19。

43-3 Carbamazepine 投与後に発症し，びまん性粒状陰影を呈した肺好酸球増多症の 1 例：川村将仁，佐藤憲一，望月太一，井上 寧，古田島 太，佐藤哲夫，二村 聡。

43-4 わが国のびまん性汎細気管支炎患者における CFTR 遺伝子変異の解析：吉村邦彦，飯塚佐代子，安斎千恵子，多田浩子，諸川納早，田辺 修，清水 歩，内田和宏，帆足茂久，児島 章，\*中田絃一郎（\*虎の門病院），衛藤義勝。1999；11（2）：21。

43-5 術後 12 年目に肺転移をきたした骨巨細胞腫の 1 例：土屋昌史，四方千裕，児島 章，多田紀夫，遠藤泰彦，牛込新一郎，佐藤哲夫。1999；11（2）：22。

43-6 慢性膿胸に発症した胸膜原発 EB ウィルス陽性リンパ腫の 1 例：清田 康，庄田慎一，中森祥隆，千先康二（三宿病院），上野万里，松熊 晋（自衛隊中央病院）。

43-7 気管支鏡下肺生検にて診断し得た Benign Clear cell tumor の 1 例：原 洋一郎，山口浩史，内田和宏，江島正顕，徳田忠昭（富士市立中央病院）。

43-8 巨大気腫性肺嚢胞に合併した小嚢胞壁から発見された微小肺癌の 1 例：山下 誠，川野 勸，佐藤修二，秋葉直志，原田 徹，羽野 寛，河上牧夫，山崎洋次。

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1999；vol. 11 no. 3

#### 第 44 回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1999年9月27日（月）18：00～20：00

会場 東京慈恵会医科大学 高木 2 号館南講堂

44-1 肺結核と EB ウィルス抗体：今泉忠芳（ランドマーク・クリニック）。1999；11（3）：30。

44-2 空洞を伴う多発結節影を呈した肺結核の 1 例：石井慎一，竹田 宏，帆足茂久，木村哲夫，牛尾龍朗，多田浩子，秋山一夫，岡田明子，田井久量。1999；11（3）：33。

44-3 肺結核細胞に対するアデノウイルスベクターを用いたヒト *FHIT* 遺伝子導入の研究：児島 章，諸川納早，小幡 徹，内田和宏，田辺 修，清水 歩，安斎千恵子，衛藤義勝，吉村邦彦。1999；11（3）：35。

44-4 少量の経口ステロイドおよびマクロライドの長期投与が有効であった follicular bronchiolitis の 1 例：大久保 光，上村光弘，吉澤篤人，放生雅章，鈴木恒雄，豊田恵美子，工藤宏一郎，新野 史（国立国際医療センター）。

44-5 超音波下生検で診断し得た肺クリプトкокカス症の 1 例：斎藤桂介，佐々木信一，小野塚 泉，森成 元，岸田由紀子，薬丸一洋（東京通信病院）。1999；11（3）：36。

44-6 肺末梢性腫瘍に対する胸腔鏡下手術の役割：松平秀樹，山崎哲賢，佐藤修二，秋葉直志，山崎洋次，福田 安，福田国彦，河上牧夫。1999；11（3）：38。

44-7 新たに開発された光重合性合成吸収性 sealing 剤（ADVASEALTM）による肺断端処理法の有用性：高木正道，秋葉直志，大森秀一郎，増淵正隆，吉田和彦，

山崎洋次. 1999; 11 (3): 39.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』1999; vol. 11 no. 4  
第45回慈大呼吸器疾患研究会

日時 1999年12月6日(火) 18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学 西講堂

- 45-1 肺野病変におけるコンビームCTの使用経験: 川上剛. 1999; 11 (4): 50.
- 45-2 慈恵医大における肺塞栓症の現状: 森豊, 内山眞幸. 1999; 11 (4): 52.
- 45-3 経気管支肺生検にて好酸球性肺炎と診断されたサルコイドーシスの1例: 清水久裕, 神宮希代子, 小野寺玲利, 古田島太, 田辺修, 佐藤哲夫, 佐藤修二, 二村聡.
- 45-4 副腎皮質ステロイド投与にて著明に改善したAIDS合併カリニ肺炎の1例: 内田和宏, 井上寧, 丹野有道, 徳田忠昭, 児島章 (富士市立中央病院). 2000; 12 (1): 13.
- 45-5 肺分画症の1例: 帆足茂久, 竹田宏, 田井久量, 木村哲夫, 牛尾龍朗, 多田浩子, 岡田明子, 石井慎一, 氏田万寿夫. 1999; 11 (4): 55.
- 45-6 気管支拡張を伴った慢性気道炎症症例におけるCFTR遺伝子変異解析: 吉村邦彦, 飯塚佐代子, 諸川納早, 安斎千恵子, 田辺修, 児島章, 内田和宏, \*中田紘一郎 (\*虎の門病院), 衛藤義勝.
- 45-7 呼吸筋麻痺を伴う急性弛緩性四肢麻痺にて発症したA型ボツリヌス中毒の1例: 小林博司, 黒川直清, 小林正久, 上條誠, 齊藤義弘, 小林尚明, 津田隆, 藤沢康司, 久保政勝, 佐竹司, \*門間千恵, \*柳川義勢, \*諸角聖 (\*東京都立衛生研究所), 衛藤義勝. 1999; 11 (4): 57.
- 45-8 気管支拡張症におけるEpstein-Barrウイルス抗体の上昇: 今泉忠芳 (アムスランドマーククリニック). 1999; 11 (4): 59.
- 45-9 MD-CTの肺病変への応用: 福田安, 川上剛, 戸崎光宏, 佐久間亨, 豊田圭子, 福田国彦. 1999; 11 (4): 62.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』2000; vol. 12 no. 1  
第46回慈大呼吸器疾患研究会

日時 2000年3月6日(月) 18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学 2階講堂

ミニシンポジウム「本学における肺癌治療の現状と将来」

- 1) 本院呼吸器・感染症内科における肺癌治療の現状～化学療法を中心に: 小野寺玲利, 木村啓, 神宮希代子, 栗原悦子, 清水裕久, 吉川晃司, 古田島太, 佐藤哲夫. 2000; 12 (1): 2.

2) 補助療法: 平野明夫

3) 遺伝子治療: 吉村邦彦. 2000; 12 (1): 4.

○ミニシンポジウムを司会して: 佐藤哲夫. 2000; 12 (1): 5.

46-1 高齢者の冬期感冒1999; 1 高齢者病棟と1訪問看護: 今泉忠芳 (アムスランドマーククリニック). 2000; 12 (1): 6.

46-2 当科における肺癌診療での腫瘍マーカーの有用性: 齋藤桂介, 佐々木信一, 伊藤敏雄, 久保哲哉, 森成元 (東京通信病院). 2000; 12 (1): 9.

46-3 Insulin-like growth factor II産生により低血糖様症状を呈したsolitary fibrous tumorの1例: 諸川納早, 飯塚佐代子, 佐藤修二, 秋葉直志, 羽野寛, 佐々木敬, 衛藤義勝, 吉村邦彦. 2000; 12 (1): 11.

46-4 呼吸器疾患治療薬の血清グルココルチコイドレベルに及ぼす影響: 堀誠治, 佐藤淳子, 川村将弘.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』2000; vol. 12 no. 2  
第47回慈大呼吸器疾患研究会

日時 2000年6月5日(月) 18:00~20:00  
会場 東京慈恵会医科大学 南講堂

47-1 マウスADP-ribosylarginine hydrolase遺伝子の構造およびプロモーター領域の機能解析: 青木薫, 吉村邦彦, 田井久量, \*Joel Moss (\*National Institutes of Health). 2000; 12 (2): 20.

47-2 多彩な内分泌症状と胸水貯留を呈したCrow-Fukase症候群の1例: 村上泰生, 四方千裕, 望月英明, 土屋昌史, 阿久津寿江, 池本卓, 岩崎さつき, 岡尚省, 吉村邦彦, 田井久量.

47-3 高齢者末期肺炎とAlbumin低下: 今泉忠芳 (アムスランドマーククリニック). 2000; 12 (2): 21.

47-4 気管支内への特異な発育形態を示した低分化腺癌の1例: 小野寺玲利, 西村理明, 井上寧, 木下陽, 児島章, 徳田忠昭 (富士市立中央病院). 2000; 12 (2): 23.

47-5 経食道超音波内視鏡下穿刺生検法を施行した縦隔腫瘍の2症例: 荒川廣志, 日野昌力, 炭山和毅, 内山勇二郎, 池田圭一, 角谷宏, 鈴木博昭, 柏木三喜也, 佐藤修二, 河上牧夫. 2000; 12 (2): 26.

47-6 原発不明の縦隔リンパ節癌の1例: 佐藤修二, 齋藤祐二, 塩谷尚志, 秋葉直志, 永田徹, 山崎洋次, 土屋昌史, 原田徹, 河上牧夫.

47-7 呼吸困難, 咳嗽, 痰を主訴とした外因性リポイド肺炎の1例: 山路朋久, 清水久裕, 平川吾郎, 古田島太, 木村啓, 神宮希代子, 栗原悦子, 佐藤哲夫, 田井久量, 佐藤修二, 羽野寛.

47-8 肺胞微石症の1例: 泉信有, 吉澤篤人, 河石真,

安久昌吾, 上村光弘, 放生雅彰, 小林信之, 工藤宏一郎 (国立国際医療センター)

47-9 BOOP様のCT像を呈した1幼児例: 伊藤良子, 澤田まどか, 子安ゆうこ, 鈴木章市, 今井考成, 高村まゆみ, 小田嶋安平, 飯倉洋治 (昭和大学医学部).

『慈大呼吸器疾患研究会誌』2000; vol. 12 no. 3

#### 第48回慈大呼吸器疾患研究会

日時 2000年9月18日(月) 18:00~20:00

会場 東京慈恵会医科大学 西講堂

特別講演 特発性肺胞蛋白症の病態形成と抗GM-CSF抗体の臨床応用: 中田光 (国際医療センター研究所).

2000; 12 (3): 34.

48-1 胸膜転移にIL-2を胸腔内投与した頭皮原発血管肉腫の1例: 館野直, 清水久裕, 木村啓, 古田島太, 南谷めぐみ, 深澤健至, 神宮希代子, 栗原悦子, 村松弘康, 佐藤哲夫, 田井久量, 羽野寛. 2000; 12 (3): 38.

48-2 囊胞液中の各種腫瘍マーカーが高値を呈した成熟型縦隔奇形腫の1手術例: 佐藤修二, 山下誠, 塩谷尚志, 秋葉直志, 永田徹, 山崎洋次, 佐藤哲夫, 鈴木正章, 河上牧夫. 2000; 12 (3): 40.

48-3 嗄声を主訴とし, ボタローリンパ筋腫脹で発見された悪性リンパ腫の1例: 南次郎, 青木薫, 竹田宏, 澤井博典, 齋藤桂介, 木村哲夫, 帆足茂久, 多田浩子, 牛尾龍朗, 石井慎一, 田井久量, 福味禎子, 氏田万寿夫, 野村浩一, 福永真治.

48-4 Progastrin-releasing peptide 遺伝子 promoter と Cre/loxP system を用いた肺小細胞癌特異的遺伝子治療の基礎的研究: 諸川納早, 児島章, 内田和弘, 安齋千恵子, 青木薫, 田井久量, 衛藤義勝, 吉村邦彦 (富士市立中央病院). 2000; 12 (3): 42.

『慈大呼吸器疾患研究会誌』2000; vol. 12 no. 4

#### 第49回慈大呼吸器疾患研究会

日時 2000年12月4日(月) 18:00~19:30

会場 東京慈恵会医科大学 本館2階講堂

49-1 血中EBウイルスDNAの検出された特発性間質性肺炎の1例: 今泉忠芳 (アムス・ランドマーク・クリニック). 2000; 12 (4): 48.

49-2 縦隔への広範な浸潤をきたした肺原発平滑筋肉腫の1例: 佐藤敬太, 四方千裕, 土屋昌史, 吉村邦彦, 田井久量, 遠藤泰彦. 2000; 12 (4): 50.

49-3 レックリングハウゼン病に発症した気腫性肺嚢胞合併肺癌の1手術例: 佐藤修二, 山下誠, 塩谷尚志, 芦塚修一, 秋葉直志, 永田徹, 山崎洋次, 宮澤善夫, 河上牧夫. 2000; 12 (4): 52.

49-4 ケナコルトA筋注が著効を示した難治性気管支喘

息の1例: 安久昌吾, 工藤宏一郎, 放生雅章, 吉澤篤人, 上村光弘 (国立国際医療センター).

49-5 肺リンパ脈管筋腫症および腹部大動脈瘤を合併した結節性硬化症の1例: 池田真仁, 清水久裕, 矢野平一, 河上牧夫. 2000; 12 (4): 53.

49-6 Sparfloxacinによるレジオネラ肺炎の1治療例: 木下陽, 井上寧, 小野寺玲利, 児島章 (富士市立中央病院).

『慈大呼吸器疾患研究会誌』2001; vol. 12 no. 5

#### 第50回慈大呼吸器疾患研究会 記録

日時 2001年3月5日(月) 18:00~20:00

会場 東京慈恵会医科大学 南講堂

50-1 血中アデノウイルスDNAの検出された肺気腫の1例: 今泉忠芳 (アムス・ランドマーク・クリニック). 2000; 13 (1): 2.

50-2 右胸腔内に巨大発育した胸腺腫の1手術例: 朝倉潤, 松平秀樹, 平野純, 高木正道, 三好勲, 増渕正隆, 穴澤貞夫, 山崎洋次, 野村浩一, 福永真治. 2000; 13 (1): 4.

50-3 Wegener肉芽腫症の1症例: 安久昌吾, 吉澤篤人, 河石真, 小林信之, 工藤宏一郎 (国立国際医療センター).

50-4 外眼筋麻痺と喘息を伴う肺浸潤影を認めた好酸球増多症の1例: 松尾七重, 木村啓, 佐藤敬太, 村松弘康, 古田島太, 佐藤哲夫, 田井久量, 宮崎日出海, 敷島敬悟, 河上牧夫.

50-5 頭痛・眩暈にて発症した原発性肺癌による髄膜癌腫症の1例: 原弘道, 宮田秀一, 齋藤隆俊, 四方千裕, 土屋昌史, 岡尚省, 吉村邦彦, 田井久量. 2000; 13 (1): 8.

50-6 胸腔鏡下肺生検にてGIP様所見を認めた間質性肺炎の1例: 多田浩子, 深沢健至, 青木薫, 竹田宏, 石井慎一, 岡田明子, 牛尾龍朗, 木村哲夫, 齋藤桂介, 田井久量, 増渕正隆, 三好勲, 高木正道, 福永真治.

50-7 頭頂部皮膚転移を伴った肺扁平上皮癌の1例: 小野寺玲利, 井上寧, 木下陽, 児島章, 徳田忠昭 (富士市立中央病院).



---

## 慈大呼吸器疾患研究会

(◎印：編集委員長 ○印：編集委員)

- 顧問 谷本 普一 (谷本内科クリニック)  
桜井 健司 (聖路加国際病院)  
伊坪喜八郎 (前・慈大第三病院外科)  
貴島 政邑 (明治生命健康管理センター)  
岡野 弘 (総合健保多摩健康管理センター)  
牛込新一郎 (慈大病理学講座)  
天木 嘉清 (慈大麻酔科)  
米本 恭三 (東京都立保健科学大学)  
飯倉 洋治 (昭和大学医学部小児科)
- 会長 ○佐藤 哲夫 (慈大呼吸器・感染症内科)
- 副会長 ○田井 久量 (慈大 第三病院呼吸器・感染症内科)
- 世話人 宮野 佐年 (慈大リハビリテーション科)  
徳田 忠昭 (富士市立中央病院臨床検査科)
- 久保 宏隆 (慈大 柏病院外科)  
佐竹 司 (慈大 柏病院麻酔科)
- 羽野 寛 (慈大病理学講座)
- 島田 孝夫 (社会保険桜ヶ丘総合病院)  
中森 祥隆 (国家公務員共済組合連合会三宿病院呼吸器科)  
矢野 平一 (慈大柏病院呼吸器内科)  
福田 国彦 (慈大放射線科)  
吉村 邦彦 (慈大 DNA 医学研究所)  
堀 誠治 (慈大薬理学講座)
- ◎秋葉 直志 (慈大呼吸器・内分泌外科)  
増渕 正隆 (慈大 第三病院外科)

---

事務局 〒 105-8461 東京都港区西新橋 3-25-8  
東京慈恵会医科大学呼吸器・感染症内科 佐藤哲夫気付  
慈大呼吸器疾患研究会

編集室 〒 222-0011 横浜市港北区菊名 3-3-12 Tel. & Fax. 045-401-4555  
ラボ企画 (村上昭夫)

---

慈大呼吸器疾患研究会誌 2001年3月31日発行 ©

第13巻第1号

慈大呼吸器疾患研究会